（資料２－２）

新図書館情報システム
開発委託業務

機能要件一覧

令和8年11月

堺市

中央図書館総務課

		要件項目数	必須項目数
1	全般	76	34
2	貸出	71	53
3	返却	50	30
4	利用者情報	94	47
5	資料検索	110	62
6	予約	75	55
7	相互貸借	35	24
8	督促	35	22
9	レファレンス情報	40	9
10	書誌情報	73	37
11	資料情報	33	15
12	注文情報	53	21
13	緊急対応・オフライン処理	23	13
14	移動図書館	11	8
15	蔵書点検	38	29
16	館内OPAC	207	110
17	館内Web閲覧端末	17	17
18	webOPAC	58	38
19	電子書籍	34	27
20	デジタルアーカイブ	9	5
21	web閲覧端末管理・座席管理	15	12
22	統計情報	32	14
23	その他	3	1

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
全般	基本要件	01001	Webアプリケーション等、容易にネットワーク配信が可能な形式とすること				
全般	基本要件	01002	同一端末で複数画面を開き並行して操作できること。複数画面で同一データに対して処理を行った場合、先行処理優先・最終処理優先など一貫した規則でデータ整合性が保たれること				
全般	基本要件	01003	使用頻度の高い操作はファンクションキーやショトーカットキー、アクセラレーションキーで操作可能であること				
全般	基本要件	01004	汎用ブラウザを使用する場合、ヒストリバックやクローン機能を使用してもトランザクション処理異常を生じない対策を施すこと				
全般	基本要件	01005	サーバー・端末間の通信はネットワーク負荷が少なくなるよう配慮されていること（特に移動図書館端末）				
全般	基本要件	01006	ネットワークはイーサネットを使用。拠点間通信はVPNで秘匿性を高めること。	必須			
全般	基本要件	01007	端末側OSには現状サポート期間内のWindowsを使用すること	必須			
全般	基本要件	01008	端末側画面の操作性はWindowsアプリＵＸデザインガイドラインを意識した設計になっていること。この場合、メインターゲットデバイスはＰＣとし、移動図書館や蔵書点検用端末で別種のデバイスを使用する場合は可能な限りこれを含めること。				
全般	基本要件	01009	画面の選択された項目や入力中項目、入力可否等、項目の色分けを行うなどして容易に視認にできること	必須			
全般	基本要件	01010	画面の一覧明細上、選択中の行や注目すべき行・項目の文字色または背景色を色分け表示し、状態を容易に把握できること	必須			
全般	基本要件	01011	画面操作中、注意喚起や詳細情報表示のため、メイン画面に重ねて出力する小ウィンドウ（ポップアップ画面）の形式は以下から選択設定可能なこと ①ポップアップで内容表示し、ＯＫ／ＣＡＮＣＥＬ等の判断入力を行うまで処理を進めないもの（モーダル） ②ポップアップを表示し、ワンクリックで元の画面に戻る（モーダル） ③ポップアップを表示しない（表示する／しないの設定選択）	必須			
全般	基本要件	01012	一覧表示の列について、内容が画面幅を超過する場合は横スクロールバーを表示し全体を確認できる事。また、重要な列は常時表示とし、残りの列は表示幅を変更することで表示範囲を調節できること				
全般	基本要件	01013	一覧表示の行について、内容が画面表示高を超過する場合は縦スクロールバーを表示、または改ページボタン／ナビゲーションを表示して全行を確認できること。				
全般	基本要件	01014	一覧の複数行選択についてはドラッグによる簡単な連続選択が可能なこと				
全般	基本要件	01015	一覧表示から遷移した詳細等の画面では、「前」「次」ボタンで一覧表上の前後データに画面遷移を行えること				
全般	基本要件	01016	検索実行中に重複して検索実行ボタンがクリックされない画面仕様にすること　また検索結果表示までに５秒以上かからないようにすること、または検索中止操作が可能なこと	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
全般	基本要件	01017	業務系と館内OPAC/webOPAC系でデータ処理のタイムラグを最小化する構成であること				
全般	基本要件	01018	利用者の情報のうち、氏名・住所等の個人情報は、データ項目の暗号化、データベース構成への配慮及びアクセス権限の設定等により適切に保護されること。暗号化した部分は、本システムから次期システムへの移行時に、移行先が他社システムであっても移行できること	必須			
全般	基本要件	01019	コード化されている項目については、プルダウンによる選択ができること　またコードの直接入力も可能であること				
全般	基本要件	01020	日付項目は手入力以外にカレンダーを表示した入力もできること				
全般	設定管理	01021	画面の色設定、音設定、コード系の設定、時計管理など、全端末の設定が集中的に行えること				
全般	設定管理	01022	時計調整については、ＯＰＡＣ、館内Web閲覧端末を含め、全端末について自動的に同期がとれること	必須			
全般	設定管理	01023	システムで使用するバーコードの設定は各種可能とし、現行のコード体系およびバーコードのチェックディジットの計算方法を引き継ぐと共に、複数のコード体系（利用者、資料共に）についても運用できること	必須			
全般	設定管理	01024	使用画面によりディジットチェックの抑制も可能なこと	必須			
全般	設定管理	01025	バーコードリーダーで利用者番号や資料番号を読み取りした際、バーコードリーダー本体の音とは別に設定によりシステムから音を鳴らすことが出来ること				
全般	期限設定	01026	休館日、返却期限、予約取置期限の設定については、すべての館の設定を集中的に行えること	必須			
全般	期限設定	01027	各期限の設定については、指定した日数（開館日のみ）を自動的に積算して初期設定するほか、職員が指定した期限の設定も可能なこと	必須			
全般	期限設定	01028	休館日、各期限の設定については、見やすいカレンダーイメージのインターフェースとし、設定した内容を画面等で確認できること				
全般	期限設定	01029	休館日、各期限の設定については、各館ごとの設定のほか、他館の設定を流用しての設定も可能なこと	必須			
全般	言語処理	01030	本システムで使用するデータの文字コードは、以下を基本とする。 ・符号化集合：JIS X 0213:2004(JIS2004) JIS 第1～4 水準、JIS X 0212 JIS補助漢字 ・文字コード：Unicode(4.0以降) ・エンコーディング：UTF-8	必須			
全般	言語処理	01031	データベースへの格納およびサーバ・端末からのデータ取り出しはUnicodeで行なうこと	必須			
全般	言語処理	01032	システム使用文字は日本語を基礎とするが、書誌データや利用者氏名等、多言語の入力が可能なこと	必須			
全般	言語処理	01033	入力項目に適したIMEモードに自動で切り替わり、入力できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
全般	言語処理	01133	全角テキストが入力可能な項目は半角文字の混在入力が可能であること（コード化対応されていない項目のみでよい）	必須			
全般	検索基本項目	01034	ヨミ及び数字の検索においては、全角、半角を意識することなく検索できること	必須			
全般	検索基本項目	01035	漢字については、旧字、新字のどちらでも検索できること				
全般	ISBN	01036	ISBN13桁に対応していること　従来の10桁との混在運用もできること	必須			
全般	アカウント管理	01037	業務システムにおいては、利用者データにアクセスした際、ログイン／ログオフ、書誌・資料・利用者の削除時にアクセスログを記録できること　アクセスログはどのユーザIDがその端末からどんな操作を行ったかを記録し、図書館システム担当者が管理できること	必須			
全般	アカウント管理	01038	セキュリティの観点から、利用者に関連するデータについて誰が何時、どこから作成、更新したのかを確認できること				
全般	アカウント管理	01039	職員のユーザーID単位に詳細な操作ログを自動取得できること	必須			
全般	ICタグ資料管理システムへの対応	01040	将来的なICタグ資料管理システム導入を想定したシステムであること　ICタグ業務は貸出・返却の他、資料管理業務等での使用を想定している	必須			
全般	ICタグ資料管理システムへの対応	01041	ICタグ資料管理システムの貸出、返却ではBDSゲートの通過許可不許可の制御ができること 館内貸出についてはBDSゲート通行不許可とできること				
全般	ICタグ資料管理システムへの対応	01042	ICタグ資料管理システムへのアクセスは、処理速度を考慮した通信処理とすること				
全般	ICタグ資料管理システムへの対応	01043	将来的なICタグ資料管理システム導入を想定して、自動貸出機によるセルフ貸出機能に対応できること　自動貸出機では複数同時に貸出処理ができること				
全般	ICタグ資料管理システムへの対応	01044	ICタグ資料管理システムに対応した自動貸出機では、利用者に既に貸出中資料と同一書誌の資料を貸出する場合に警告を表示しカウンターに誘導するメッセージを表示できること				
全般	ICタグ資料管理システムへの対応	01045	ICタグ資料管理システムに対応した自動貸出機では、貸出できない資料が存在した場合は「カウンターへお越し下さい」のようなメッセージを表示すること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
全般	ICタグ資料管理システムへ	01046	将来的なICタグ資料管理システム導入を想定して、自動返却仕分機によるセルフ返却機能に連携可能なシステムであること	必須			
全般	職員ログイン 端末セキュリティ	01048	業務グループごとに複合検索の絞り込み条件（資料種別や場所区分など）・現物受入時のローカル情報（所蔵館・場所区分など）・注文時のローカル情報（注文館・場所区分など）の初期値を表示できること				
全般	職員ログイン	01049	どの機能画面でも、「ログオフ」「ユーザ変更」のボタンが表示され、ワンボタンで対応画面に遷移できること				
全般	職員ログイン	01050	職員が使用する際はユーザーID／パスワードを入力して認証を行うこと	必須			
全般	職員ログイン	01051	ＩＤは職員単位に与えることで業務の実行権限や動作条件などの設定ができること	必須			
全般	職員ログイン	01052	ユーザーIDはグループ化することもでき、管理を容易にできること				
全般	職員ログイン	01053	ユーザーIDは管理者によって削除等の管理が可能なこと　ユーザーグループの管理も可能なこと	必須			
全般	職員ログイン	01054	図書館業務操作者向けにメッセージを表示することが可能なこと　メッセージ内容はシステム管理者によってメンテナンスが可能なこと				
全般	職員ログイン	01055	パスワードには有効期限を設定できること				
全般	職員ログイン	01056	ログイン認証後、ユーザーID（権限）によって初期画面の表示を設定できること				
全般	職員ログイン	01057	パスワードの文字数チェックを行えること				
全般	職員ログイン	01060	ログイン後、一定時間操作を行わなかった場合、継続して業務を行うために再度パスワード入力が必要な設定にすることが可能なこと				
全般	職員ログイン	01061	ユーザ自身（職員）によるパスワード変更が可能なこと				
全般	職員ログイン	01062	ユーザ自身（職員）によるパスワード変更は即時反映されること				
全般	職員ログイン	01064	ユーザの切り替えができること				
全般	職員ログイン	01065	端末操作にかかる職員認証はユーザID、パスワードの手入力のほか、ユーザIDについてはバーコードでの入力も可能とすること				
全般	データ共有	01066	書誌、所蔵などの一覧など、作成した帳票・データについて、職員間で共有が可能なこと	必須			
全般	データ共有	01067	職員間で共有するデータは5TB以上確保でき、RAIDシステムなどによりデータ消失対策が施されていること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
全般	データ共有	01068	データ共有については各館間でも可能なこと	必須			
全般	データ共有	01069	データ共有については用途やグループごとに管理できること				
全般	データ共有	01070	データ共有については職員間での公開、非公開の設定ができること				
全般	利用者カード	01071	利用者が所持するスマートフォンを利用者カードの券面項目（利用者番号・バーコードなど）を表示するなどして利用者カードの代替として使用可能なこと	必須			
全般	利用者カード	01072	スマートフォンを利用者カードとして使用する場合、画面にセキュリティキーが表示されるなどの偽造対策が施されていること				
全般	利用者カード	01073	図書館カード以外の公的カードを利用者カードの代替として使用する場合のユースケースが想定されていること				
全般	バックアップ	01074	データの状態を日次で復旧できるよう、最低3世代分のバックアップを残せること	必須			
全般	バックアップ	01075	バックアップデータは定期的に外部媒体に保存し、サーバ設置場所と異なる場所で分散保管できること	必須			
全般	その他	01076	管理端末から各端末をリモート操作できること。この機能については管理者権限を必要とすること				
全般	その他	01077	職員からの問合せに対応し、障害等の一時切り分けを行うヘルプデスクを設置すること。ヘルプデスクは図書館開館時間中対応可能なこと	必須			
全般	その他	01078	複雑な操作を伴う場合は画面項目にオンカーソルで簡単な説明を表示できる等、操作のガイド機能を備えていること				
全般	その他	01079	ヘルプ機能を持ち、オンラインヘルプ画面の表示ができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案（提案書に記載の場合はその箇所）
貸出	基本要件	02001	利用者番号１件に対し、１点以上の資料番号を入力して資料の貸出処理を行う。資料貸出処理時、資料毎に貸出期限を設定する。貸出された資料は利用者の「現在貸出中の資料点数」としてカウントアップされる。	必須			
貸出	基本要件	02002	貸出画面で利用者番号・資料番号を入力する場合バーコードスキャナを使用を原則とするが、手入力での処理もできること	必須			
貸出	基本要件	02003	利用者資格区分（個人・団体・協力館等）と主に資料種別に従属する貸出規則区分（図書＋雑誌＋視聴覚資料・課題図書・電子書籍等）毎に貸出可能最大数の設定が行えること。また電子書籍を除いた各貸出規則全体としての冊数制限が設定できること	必須			
貸出	基本要件	02004	利用者資格区分（個人・団体・協力館等）と主に資料種別に従属する貸出規則区分（図書＋雑誌＋視聴覚・課題図書・電子書籍等）のかけ合わせ毎に貸出期間・延長可能回数・延長期間の設定ができること。	必須			
貸出	基本要件	02005	利用者資格区分（個人・団体・協力館等）と主に資料種別に従属する貸出規則区分（図書・雑誌・電子書籍等）毎に延長期間、回数の設定ができること				
貸出	基本要件	02006	貸出画面から返却、利用者検索、資料検索などへの処理画面はワンキー（タッチ）操作で遷移・呼出しが可能であること	必須			
貸出	基本要件	02007	貸出画面から返却画面への遷移は特定のバーコードを走査することでも可能であること				
貸出	特別貸出	02008	館内貸出として、貸出期間を当日のみとするルールでの貸出ができること。館内貸出を行う場合は貸出画面から簡易な操作で切替実行が出来ること				
貸出	利用者番号読み取り	02009	貸出カードを忘れた場合に備え、利用者番号を入力する代わりに利用者検索を行い利用者を特定することで貸出ができること。その際、貸出画面から利用者検索画面に遷移し、検索した利用者番号を引き継いで貸出画面に戻ることが出来ること	必須			
貸出	利用者番号読み取り	02010	利用者番号を読み取った後、何も操作がなく一定時間が経過した場合、誤貸出防止のためにその状態をクリアし、利用者番号を読み込む前の状態とすること　（離席時、操作途中の利用者番号に対し誤った貸出処理をしてしまうミスの抑制機能があること）				
貸出	利用者番号読み取り	02011	読み取った利用者番号がwebによる登録申請番号（web仮登録番号）だった場合、その旨を示すメッセージを表示する等してそのまま貸出をすることがないように案内し、本登録処理を促すことが出来ること				
貸出	利用者チェック	02012	貸出停止、無効、再発行済み、論理削除済みの利用者をチェックすることができること	必須			
貸出	利用者チェック	02013	読み取った利用者番号に該当する利用者が未登録の場合の処理を以下から選択して設定できること ①自動で仮登録を行いそのまま貸出処理を継続することができること ②読み取った利用者番号を引き継いで利用者登録画面に遷移することができること ③仮登録するかの確認画面を表示し、職員に判断を求めることができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案（提案書に記載の場合はその箇所）
貸出	利用者チェック	02014	読み取った利用者番号に該当する利用者が仮登録状態である場合の処理を以下から選択して設定できること ①そのまま貸出処理を継続 ②メッセージを表示した上で、そのまま貸出処理を継続するか本登録画面に遷移するか選択 ③確認画面を表示し、貸出するか中断するか職員に判断を求める	必須			
貸出	利用者チェック	02015	読み取った利用者番号に該当する利用者が無効扱いの場合、その旨表示して貸出を実施できないこと	必須			
貸出	貸出時表示	02016	利用者番号を読み取った時に該当利用者が登録されていた場合は、利用者情報として、利用者の簡易情報（利用者番号、氏名、氏名ヨミ、利用者名区分など）が表示されること。また、その表示内容は導入時に設定できること	必須			
貸出	貸出時表示	02017	表示された利用者簡易情報の内、氏名の表示非表示を貸出画面上で切り替えることができること。				
貸出	貸出時表示	02019	貸出可能最大数の計算に紛失・賠償処理中の資料を含めるか含めないかをシステム初期設定で選択できること	必須			
貸出	貸出時表示	02020	利用者番号を読み取った後、当該利用者の貸出一覧画面・予約一覧画面・利用者詳細画面にワンタッチで画面遷移できること	必須			
貸出	貸出時表示	02021	予約割当資料が存在する場合、自館受取か他館受取りか（或いは両方か）の別をポップアップ画面で表示し、以降予約一覧画面に遷移するか、貸出資料番号入力欄に戻るかを選択できること	必須			
貸出	貸出時表示	02022	予約中資料の情報を表示できること	必須			
貸出	貸出時表示	02023	貸出画面で書名など書誌情報の表示・非表示を切替できること（初期値をどちらにするか設定できること）				
貸出	コメント	02024	利用者番号を読み取った際に、その利用者にコメントがある場合、自動的に表示することができること　コメントの画面で通知の追加・修正・削除など通知に関する全処理が行えること	必須			
貸出	コメント	02025	利用者へのコメントを追加することができること　　コメントは表示後消去の設定、利用者への公開非公開の設定ができること	必須			
貸出	コメント	02026	該当の利用者のコメントを修正、削除できること　修正については内容の修正に加え、通知済みの設定をすることができること	必須			
貸出	返却期限設定	02027	利用者番号を読み取ることにより、その利用者の利用者資格に合わせた返却期限が表示されること。　また意図的に返却日を変更させる機能も有すること（算出された返却予定日に返却日変更の設定がされていた場合、その返却予定日を強制的に変更設定されること）	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案（提案書に記載の場合はその箇所）
貸出	返却期限設定	02028	期限を指定して貸出を行う場合、返却期限の入力はキーボードに加えカレンダーから選択する方式がとれること				
貸出	返却期限設定	02029	利用者が借りている所蔵資料を誤って返却した場合等の対応として、返却期限に過去の日付を指定して貸出処理ができること				
貸出	返却期限設定	02030	貸出規則区分毎に返却予定日が表示されること　また一時的に返却予定日の変更を行う際は全てまたは貸出規則区分毎に変更ができ、次の利用者に貸し出すまではその設定を維持することができること	必須			
貸出	基本要件	02031	貸出処理画面から現在処理中利用者の貸出一覧画面に遷移し、「04利用者情報」の「貸出一覧」の項目に記載するすべての機能を実行できること。遷移した貸出一覧画面からは遷移前の貸出画面に復帰できること	必須			
貸出	更新	02032	読取った利用者番号に該当する利用者に設定された有効期限がシステム日付より前の場合、、有効期限切れである旨のメッセージを表示することができること。このメッセージに続き、操作者はその利用者の詳細情報画面などに進み更新処理を実施後に元画面に戻るか、このまま貸出を実施するか、中止するか選択できること	必須			
貸出	延滞	02033	設定により、読み取った利用者に当日返却期限となっている貸出資料がある場合、職員に注意喚起できること				
貸出	延滞	02034	読み取った利用者に延滞扱いとなっている貸出資料がある場合、メッセージポップアップ等により職員に注意喚起できること　また設定により、貸出を制限することもできること	必須			
貸出	延滞	02035	督促済利用者に対して、メッセージを表示することができること　また設定により、貸出を制限することができること	必須			
貸出	資料番号読み取り	02036	資料番号を読み込むことにより、該当資料が登録されていた場合は資料情報を取得し、該当資料の情報を表示すること	必須			
貸出	資料番号読み取り	02037	読み取った資料の書誌情報の表示・非表示の指定ができること				
貸出	資料番号読み取り	02038	読み取った該当資料および既貸出資料を選択し、ワンキー（クリック｜タップ）操作で資料詳細画面を表示できること。また詳細情報から資料情報の修正画面に移行ができること	必須			
貸出	資料番号読み取り	02039	資料番号を読み取った該当資料が禁帯出資料の場合、その旨を示すポップアップ画面を表示して警告し、貸出を中止するか貸出を実施するか選択できること。なお、このポップアップ画面にはデフォルトプッシュボタンは設けず、操作者の明確な操作を要求するものであること（バーコードスキャンだけで処理が進まないこと）。	必須			
貸出	資料番号読み取り	02040	読み取った資料番号の該当資料に貸出開始日が設定されており、システム日付が貸出開始日に到達していない場合、貸出開始日に到達していない旨のメッセージを表示し、貸出実施か中止かを選択できること。なおこの機能は無効とするようシステム設定で選択できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案（提案書に記載の場合はその箇所）
貸出	資料番号読み取り	02041	読み取った資料番号の該当資料にコメントが入力されており、貸出時に通知する設定になっている場合、注記がある旨のメッセージとともにそのコメント内容が表示されること　ただし、通知後削除する設定になっている場合、注記がある旨のメッセージとともにその注記内容が表示した後、注記内容がクリアされること	必須			
貸出	資料番号読み取り	02042	読取済資料一覧では任意の資料を選択して資料に対するコメント（破損ありなど）を入力できること	必須			
貸出	資料番号読み取り	02043	資料番号欄に特定の番号を入力することで、貸出を完了し、画面を初期状態にできるクリアコード機能を備えていること。クリアコードの入力はバーコードリーダー等を使用できること	必須			
貸出	貸出中資料	02044	読み取った資料番号が他利用者への貸出中資料であった場合、他利用者への貸出中資料である旨のメッセージを表示し、貸出実行するか中止するか選択できること。貸出実行を選択した場合、自動的に一旦返却更新を行った上で貸出処理実行すること	必須			
貸出	貸出中資料	02045	読み取った資料番号の該当資料が当該利用者への貸出中資料であった場合、当該利用者の延長処理とみなし、延長可能条件をチェックする。延長可能であった場合、貸出延長または再貸出または中止を選択できること	必須			
貸出	予約資料	02046	読み取った資料番号が他の利用者のために割当されている資料であった場合は、他利用者への割当資料である旨をポップアップ画面で表示して貸出処理継続を不可とすること。なお、このポップアップ画面にはデフォルトプッシュボタンは設けず、明確な操作を必要とすること。	必須			
貸出	予約資料	02047	読み取った資料番号に予約がかけられており、かつその予約者が貸出者と同じ場合は、本人が予約している資料である旨を通知し、貸出完了時にその予約情報を自動的に削除することができること。なお、その予約情報が資料確保・回送中・連絡待ち等、既に貸出者と結びついている場合、その所蔵資料は回収が必要なことを示す状態に更新されること	必須			
貸出	予約資料	02048	予約割当資料を予約した利用者本人に貸出した場合、当該予約情報を同期して削除すること	必須			
貸出	予約資料	02049	予約割当資料を予約した利用者本人に貸出した場合、当該予約情報を貸出済として履歴管理するシステム設定が可能であること				
貸出	付録資料	02050	読み取った該当資料に付録資料がある場合その旨のメッセージを表示すること（職員が付録資料の存在を認知できるようにするため）	必須			
貸出	付録資料	02052	付録資料の貸出状況を利用者の貸出一覧や帳票、資料の詳細画面で確認できること	必須			
貸出	付録資料	02053	付録資料は貸出上限冊数を計算するうえでの貸出数に含めない設定ができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案（提案書に記載の場合はその箇所）
貸出	冊数制限	02054	貸出の上限冊数に達した場合はその旨のメッセージを表示し、その資料の貸出を実施するか、職員に判断を求めることができること	必須			
貸出	貸出制限	02055	特定の帯出区分や場所区分の資料に対して貸出不可メッセージを表示し、本当に貸出処理を行うか確認することができること（強制貸出しを職員が選択できること。ただしデフォルトプッシュボタンにはしないこと。）	必須			
貸出	完了処理	02056	個人利用者への貸出処理完了時、自動的にレシートプリンターから貸出票を出力できること	必須			
貸出	完了処理	02057	貸出票には図書館名、タイトル、それぞれの返却期限日、予約の有無、付録資料であるか、協力貸出資料であるかどうかが印刷されること	必須			
貸出	完了処理	02058	貸出票には貸出合計冊数の印刷も可能なこと				
貸出	完了処理	02059	今回処理分の貸出票と全貸出資料の貸出票の２パターンでの出力ができること	必須			
貸出	完了処理	02060	貸出票には図書館からのお知らせ、貸出館の電話番号などが印刷できるよう設定できること	必須			
貸出	完了処理	02061	利用者番号を読取り利用者情報の特定が出来れば、その時点で当該利用者に貸し出している資料の一覧をレシートプリンターより貸出票として出力できること	必須			
貸出	完了処理	02062	貸出中に次の利用者番号を読み取った場合は貸出処理を完了し、その読み取った利用者番号での新たな貸出処理を行うことができること	必須			
貸出	完了処理	02063	貸出中に画面を閉じる、または他画面へ遷移を行ったことにより貸出処理が完結しない場合、処理が完結していないことを警告するメッセージを表示する等、未完結貸出を防止する機能があること	必須			
貸出	延長処理	02064	貸出中の任意の資料について返却期限日の延長ができること。また複数冊を一括で延長処理することも可能であること。その際、貸出規則により定められた延長可能上限回数を超過している場合、その旨が表示され、延長可否を選択できること	必須			
貸出	延長処理	02065	延長の際、対象資料（群）の中に返却期限を超過したものがある場合はその旨を表示して、延長ができないようにすること。但し、強制的な延期は可能であること	必須			
貸出	延長処理	02066	延長の際には予約の有無を確認し、予約があった場合にはその旨を表示して、延長ができないようにすること。但し、強制的な延期は可能であること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案（提案書に記載の場合はその箇所）
貸出	延長処理	02067	返却期限日の延長の際には、延長希望の資料番号を読み取る方法と、利用者の貸出一覧から選択して延長する方法のどちらでも可能なこと				
貸出	セット資料貸出	02068	論理的セット済資料を貸し出す場合、セット親資料番号（セットを代表する番号）を入力することで、従属するセット済資料が全て貸出状態として扱われること	必須			
貸出	セット資料貸出	02069	物理的セット（合冊製本）済の子資料番号を貸出対象資料として読み込んだ場合、その旨のメッセージを表示し処理をキャンセルできること				
貸出	特別予約	02070	特別予約（択一予約）されている資料読み込んだ場合、メッセージを表示することができること				
貸出	協力貸出（相互貸借）	02071	協力貸出借受資料を貸出対象資料として読み込んだ場合、借受資料である旨のメッセージが表示できること	必須			
貸出	協力貸出（相互貸借）	02072	協力貸出借受資料を貸出した際は、貸出票（レシート）に協力貸出資料であることが判別できる表示を行うこと	必須			
貸出	協力貸出（相互貸借）	02073	協力貸出借受資料の貸出時、その借受資料に設定されている借受期限と、貸出ルールにより決まる返却期限を比較し、借受期限の方が短い場合は警告を表示すること。またこの場合、借受期限を返却期限とすることをデフォルトとし、オプションで貸出ルールで決まる返却期限を選ぶことができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
返却	基本要件	03001	図書館規定の利用者番号、資料番号のバーコードによる読み取りを原則とするが、手入力での処理もできること	必須			
返却	基本要件	03002	返却画面から返却、利用者検索、資料検索などへの処理画面はワンタッチで遷移が可能であること	必須			
返却	基本要件	03003	返却画面から貸出画面への遷移は特定のバーコードまたは利用者番号を読み取ることでも可能であること				
返却	基本要件	03004	返却画面で利用者カード番号を入力した場合は、自動的に貸出画面に展開すること				
返却	資料番号読み取り	03005	資料番号を読み取った際に該当資料が登録されていない場合は未登録であることを表示すること	必須			
返却	資料番号読み取り	03006	資料番号を読み取った際に、団体貸出資料であった場合も返却処理を継続することができること	必須			
返却	資料番号読み取り	03007	禁帯出資料が返却された場合は文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知することができること　設定により、メッセージを表示できること	必須			
返却	資料番号読み取り	03008	閉架資料が返却された場合は文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知することができること　設定により、メッセージを表示できること	必須			
返却	資料番号読み取り	03009	返却期限を超過した資料が返却された場合は文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知することができること。設定により、メッセージを表示できること。				
返却	資料番号読み取り	03010	返却された資料の返却期限超過日数に応じ、背景色、文字色、強調表示などで区別できる設定をできること。				
返却	資料番号読み取り	03011	他館資料が返却された場合は文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知することができること　設定により、メッセージを表示できること				
返却	資料番号読み取り	03012	特定（不明・除籍・整理など）の状態区分の資料番号を読取った場合には、警告を表示すること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
返却	資料番号読み取り	03013	特定の資料コメントコードが設定されている資料が返却された場合に、回収指示票をレシート印刷できること	必須			
返却	資料番号読み取り	03014	返却資料の状態が不明・書架不明・調査不明であった場合、その旨を表示して不明状態を解除し、予約有無・回送有無により状態区分を「在庫」「返却回送中」「予約割当中」「予約回送中」などの状態になること	必須			
返却	資料番号読み取り	03015	除籍資料が返却された場合、ポップアップで警告を表示できること　資料状態は変更されず、資料情報をレシート印刷することができること	必須			
返却	資料番号読み取り	03016	点検中の資料が処理された場合、点検区分は「点検中」から「点検済み」となること。また、不明資料であった場合は連続点検不明回数がゼロクリアされること	必須			
返却	資料番号読み取り	03017	未貸出資料が返却された場合、文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知し、メッセージを表示する設定ができること				
返却	資料番号読み取り	03018	未貸出資料が処理された場合も、貸出資料が返却された場合と同様に予約・回送等の処理がされること	必須			
返却	資料番号読み取り	03019	資料状態が「整理回送中」の資料が返却された場合、文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知し、メッセージを表示する設定ができること				
返却	資料番号読み取り	03020	資料状態が「予約連絡済」資料および「予約割当済」の資料が返却された場合、文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知し、メッセージを表示する設定ができること				
返却	資料番号読み取り	03021	資料状態が「予約割当待ち」資料が返却された場合にメッセージを表示できること				
返却	資料番号読み取り	03022	製本子資料、セット本親資料、セット本子資料が返却された場合は文字または背景の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知することができること　設定により、メッセージを表示できること	必須			
返却	資料番号読み取り	03023	協力貸出資料の返却の場合、ポップアップで警告を表示できること　また文字の色を変える、警告音を鳴らすなどで通知することができること	必須			
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03024	読み取った資料を履歴から選択し、その資料を借りていた利用者の詳細画面にワンクリックで遷移でできること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03025	読み取った資料を履歴から選択し、その資料を借りていた利用者の貸出一覧画面にワンクリックで遷移できること	必須			
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03026	返却を行った資料を借りていた利用者にコメントがある場合はその旨を表示できること　また警告音を鳴らすことができること　設定により、コメントを自動的に消去できること	必須			
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03027	返却を行った資料を借りていた利用者の残り貸出数が表示されること　その際本体資料・付録資料を別に表示することが可能であること　また一覧情報として以下の情報が表示され、貸出毎に強調するための色表現が可能であること（タイトル／巻次／著者／返却日／延期回数／処理館／予約の有無）	必須			
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03028	返却を行った資料を借りていた利用者の既貸出の情報として延滞冊数／督促冊数/貸出可能予約冊数/予約冊数/通知件数が表示されていること また、通知メッセージについては、最も優先されるメッセージの見出しも合わせて表示されること				
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03029	返却を行った資料を借りていた利用者の利用者予約資料一覧を表示できること　また一覧情報として以下の情報が表示され、予約毎に強調するための色表現が可能であること（タイトル／巻次／予約日／確保している場合は確保資料番号／予約の連絡方法／連絡状況／取置期限／待ち順位／処理館／依頼館／受取館）				
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03030	返却された資料を借りていた貸出利用者の情報がシステムに存在しない場合でも画面やサーバが停止することなく、メッセージを表示するなどして処理を続けられること	必須			
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03031	返却した利用者に予約割当資料がある場合、設定により、メッセージを表示できること				
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03032	返却資料一覧から資料を選択して、直前の貸出利用者の利用者詳細画面に展開できること。その画面から利用者コメント設定を行えること	必須			
返却	資料番号読み取り（利用者情報）	03033	当該利用者の返却の受領証（レシート形式でも可）が出力できること				
返却	資料番号読み取り（予約）	03034	返却された資料が予約されている資料の場合は、最も優先順位の高い予約者の情報を表示し予約の割当を行うこと　このときレシートプリンターから予約割当票（受取窓口が他館の場合は予約回送票）が印刷されること　自動的に受取館へ配送処理が行われること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
返却	資料番号読み取り（予約）	03035	特定の場所区分資料は予約割当を行わないよう設定できること				
返却	資料番号読み取り（予約）	03036	資料番号を読み取った際に予約がかかっていた場合、その資料が禁予約資料であった場合は確保を行わず、文字または背景の色を変える、警告音を鳴らす、ダイアログメッセージを出すなどにより通知できること	必須			
返却	資料番号読み取り（予約）	03037	禁帯出資料が読み取られた場合、そのタイトルに予約がある場合は確保を行わず、文字または背景の色を変える、警告音を鳴らす、ダイアログメッセージを出すなどにより通知できること	必須			
返却	資料番号読み取り（予約）	03038	協力貸出資料の返却で、そのタイトルに予約がある場合にはポップアップを表示できることまた、予約割当を行うかどうかが指定できること	必須			
返却	資料番号読み取り（予約）	03039	貸出可能日に達していない資料は、予約の割当が行われないこと				
返却	資料番号読み取り（予約）	03040	予約データに予約コメントが登録されている場合は、予約割当て時に予約コメントを表示できること				
返却	資料番号読み取り（予約）	03041	特別予約の一部（上巻が返却され下巻待ちなど）の資料が返却され、処理窓口と受取窓口が同じ館の場合、予約割当待ち票（受取窓口が他館の場合は予約回送票）を印字することができること				
返却	資料番号読み取り（予約）	03042	付録親資料が返却された場合にメッセージを表示できること	必須			
返却	資料番号読み取り（予約）	03043	読取った資料番号が付録のものであった場合、画面上でそのことが判別できること	必須			
返却	資料番号読み取り（資料情報）	03044	返却一覧から選択した資料の詳細画面へワンタッチで展開できること	必須			
返却	資料番号読み取り（資料情報）	03045	返却資料一覧から資料を選択して資料詳細画面に展開できること　　資料詳細画面上で資料コメント設定を行うことができること	必須			
返却	資料番号読み取り（資料情報）	03046	返却資料一覧上の書誌情報（タイトル・著者名等）については、プライバシー配慮のため表示非表示を切り替えることができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
返却	資料番号読み取り（資料情報）	03047	資料の場所区分や状態区分・付録区分など、資料の各区分が特定の値の場合に、その行を特定の色で表示することができること　設定により、ポップアップと音での通知も可能なこと	必須			
返却	資料番号読み取り（資料情報）	03048	返却された資料の一覧画面は画面を遷移した後でも保持することができること　また任意にクリアできること				
返却	回送処理	03049	読み取った資料が他館所蔵の場合は職員にわかるよう通知し、資料の状態を回送中に設定すること	必須			
返却	延長処理	03050	処理モード切替により返却画面で貸出期限延長を行うことができること。延長後の貸出期限日は処理を行った日から自動計算され、また特定日付への変更も可能であること。この時、対象資料・利用者の状態による延長可否条件判定を行い、延長不可の場合警告が表示できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
利用者情報	基本要件	04001	図書館規定番号体系の利用者番号のバーコードによる読み取りを原則とするが、キーボード入力での処理もできること	必須			
利用者情報	基本要件	04002	利用者詳細画面から利用者貸出一覧画面と利用者予約一覧画面にワンタッチで遷移できること				
利用者情報	利用者検索	04003	図書館で指定した任意の項目で利用者検索が可能であること				
利用者情報	利用者検索	04004	利用者の登録区分（個人・団体など）及び登録状態（仮登録・本登録・web仮登録）をすべて一括で検索できる他、それぞれの区分・状態を複数選択で組み合わせて検索できること	必須			
利用者情報	利用者検索	04005	複数の項目での掛け合わせ検索が可能なこと	必須			
利用者情報	利用者検索	04006	複数の項目に検索条件を入れることで、それぞれの検索条件での掛け合わせ検索が行われること				
利用者情報	利用者検索	04007	検索した結果が該当なしの場合、ポップアップを表示して元画面復帰と利用者情報新規登録画面展開を選択できること				
利用者情報	利用者検索	04008	利用者名は姓と名を複合で検索でき、表記とヨミの両方から検索ができること	必須			
利用者情報	利用者検索	04009	利用者名は、前方一致、中間一致、完全一致検索を行うことができること	必須			
利用者情報	利用者検索	04010	ヨミの検索の際にはひらがな、カタカナを意識することなく検索ができること。静穏化をしない検索ができること。				
利用者情報	利用者検索	04011	住所コードでの絞り込みができること				
利用者情報	利用者検索	04012	入力した検索条件をワンクリックですべてクリアして新たな検索条件の入力待ち状態にできること	必須			
利用者情報	利用者検索	04013	利用者検索のヒット件数が１件の場合、自動的に利用者詳細画面に遷移できること				
利用者情報	利用者一覧	04014	利用者一覧の表示人数について、いくつかのパターンから選択できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
利用者情報	利用者一覧	04015	利用者一覧において、導入時に図書館の指定した項目により、ソートできること　また、昇順/降順の指定も行うことができること				
利用者情報	利用者一覧	04016	利用者一覧には、利用者名表記・利用者番号・利用者区分・電話番号・生年月日・住所・現貸出数・現予約数・延滞数等が表示されること				
利用者情報	利用者一覧	04017	一覧表示される項目や項目位置は導入時に設定可能なこと				
利用者情報	利用者一覧	04018	利用者一覧から選択した利用者の利用者詳細画面・貸出一覧画面・予約一覧画面へ展開ができること	必須			
利用者情報	利用者詳細	04019	利用者詳細画面では、利用者情報の表示・新規登録・流用登録・修正・更新・再発行・論理削除・物理削除を行うことができること				
利用者情報	利用者詳細	04020	利用者番号を入力し、利用者データが存在する場合は「修正」画面に、存在しない場合は「登録」画面に遷移できること	必須			
利用者情報	利用者詳細	04021	該当利用者情報の内容を一目で確認できること　また、編集内容については、図書館にて変更が可能であること	必須			
利用者情報	利用者詳細	04022	該当利用者が貸出停止状態である等、ステータスなどの重要な項目については、文字色または背景色を変更するなど、識別しやすく表示できること				
利用者情報	利用者詳細	04023	利用者詳細から貸出一覧・予約一覧にワンタッチで遷移できること	必須			
利用者情報	利用者詳細	04024	最終処理窓口、最終利用日、登録窓口、登録日、更新日、再発行日、有効期限、最終督促日など、利用者に付随する情報も表示されること	必須			
利用者情報	利用者詳細	04025	当該利用者の図書館利用傾向を把握するため、貸出冊数・予約件数・督促回数等の年間推移（過去５年分程度）を表示できること				
利用者情報	仮登録	04026	貸出機能要件管理番号2010をみたすこと　その際、ポップアップ表示で確認を促すこと 登録項目は導入時に設定できること				
利用者情報	新規登録	04027	利用者登録時、利用者名カナ姓名と、生年月日が同一の利用者情報が既に登録されている場合に、二重登録の警告としてメッセージを表示できること　データの更新時だけではなく、必要に応じて随時「二重登録」のチェックをおこなえること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
利用者情報	流用登録	04028	先に登録・修正を行った利用者データを流用して登録をおこなうことができること	必須			
利用者情報	Web仮登録	04029	webＯＰＡＣからの利用者申込み画面で付与されたweb登録申請番号を入力することで、該当する利用者情報を引き継ぎ、簡易に利用者登録を行うことが可能であること　その際、当該利用者の予約データも引き継ぐこと	必須			
利用者情報	修正	04030	表示されている利用者の修正を行うことができること	必須			
利用者情報	更新	04031	表示されている利用者情報に対し更新処理を行うことで貸出カードの有効期限を延長できること。延長される期間はシステム初期設定で指定できること	必須			
利用者情報	更新	04032	登録の更新を行う際は二重登録チェックが行われ、該当した場合はその旨を表示し、更新ができないようにすること　但し、強制的な登録ができるようにすること　その際の二重登録チェックの項目は利用者カナと生年月日とする	必須			
利用者情報	更新	04033	更新後の有効期限は、利用者区分毎にその利用者の更新処理日を基準に算出されること	必須			
利用者情報	再発行	04034	紛失等の利用者カードの無効化と同時に新しい利用者カードの再発行の処理ができること	必須			
利用者情報	再発行	04035	利用者カードの再発行時には、利用者情報や貸出・紛失・予約・パスワード情報といった利用者関連情報を引き継いで登録できること	必須			
利用者情報	再発行	04036	貸出カード再発行（利用者番号再振出）時、新利用者番号の利用者情報に、貸出資料・紛失資料・督促情報・予約情報・貸出回数が全て引き継がれ、旧利用者情報は、論理削除扱いである「再発行済」となり、新利用者番号とひもづくこと。				
利用者情報	再発行	04037	利用者は再発行済の旧利用者番号で館内OPAC／webOPAC／電子図書館などにログインできないこと				
利用者情報	削除	04038	削除処理を行うことで表示されている利用者情報の関連情報が同時に削除されること（利用者情報、コメント）但し、該当の利用者に貸出、紛失、予約データがある場合は削除処理に警告を出力し、削除できないようにチェックがなされること	必須			
利用者情報	入力	04039	利用者名カナは、自動かな振り機能で利用者名漢字を入力すると自動的に表示されること				
利用者情報	入力	04040	利用者の年齢を表示することができること　年齢は生年月日を入力すると自動的に計算されること				
利用者情報	入力	04041	利用者詳細画面では、連絡先３つ・保護者・詳細情報・利用者コメント・団体情報・利用状況についてく表示できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
利用者情報	入力	04042	督促連絡先、予約割当時連絡先、緊急時連絡先を３つの連絡先から、選択して登録できること				
利用者情報	入力	04043	督促連絡先、予約割当時連絡先、緊急時連絡先に指定された連絡先情報が設定されていない場合にメッセージを表示できること				
利用者情報	入力	04044	保護者情報を登録できること				
利用者情報	入力	04045	郵便事業株式会社が提供する郵便番号辞書（住所の郵便番号）をシステムに取り込み、郵便番号辞書として検索することができること　取り込む時には、UTF-8への変換がおこなわれること　また、現在の郵便番号辞書のデータをクリアしたのち、取り込みを行うことができること　複数レコードに分割されている場合は、結合したうえで取り込みされること	必須			
利用者情報	入力	04046	郵便番号、住所コード、住所の検索・参照ができること				
利用者情報	入力	04047	郵便番号、住所コード、住所の入力時に郵便番号データベースから値を参照して登録が可能であること				
利用者情報	入力	04048	郵便番号、住所コード、住所の入力時に住所データベースから値を参照して登録が可能であること				
利用者情報	入力	04049	郵便番号、住所コード、住所の入力時に、図書館で設定した住所コードを参照して登録が可能であること				
利用者情報	入力	04050	地番変更時等に一括して利用者情報の変更が行えること				
利用者情報	入力	04052	団体利用者の場合は、代表者の名前・代表者の連絡先・代表電話番号・団体人数などを登録できること				
利用者情報	入力	04053	メールアドレスを３つ以上登録できること	必須			
利用者情報	入力	04054	連絡内容（督促・予約割当通知）の別により通常使用する連絡手段（電話・メール・FAX）を選択できること				
利用者情報	貸出停止	04055	利用者を貸出停止状態にできること　貸出停止期限と停止理由を登録できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
利用者情報	貸出停止	04056	任意に指定する期限を超過した貸出中資料を持つ利用者に対して、一括して貸出停止状態にできること。なお、期限超過貸出資料が返却された時点で自動的に貸出停止を解除することができること				
利用者情報	パスワード発行	04057	OPAC(web・館内・電子書籍共通）の仮パスワードが発行できること、またそれぞれの発行状況が確認できること	必須			
利用者情報	パスワード発行	04058	図書館で設定した規約に従って自動的にパスワードが作成され、直接入力することがなくとも仮パスワードを設定する機能があること	必須			
利用者情報	パスワード発行	04059	仮パスワード発行の際に、仮パスワードが記されたレシートを印字することができること	必須			
利用者情報	パスワード発行	04060	仮パスワードを発行した場合に、現行のパスワードがあれば、仮パスワードで上書きすること	必須			
利用者情報	パスワード発行	04061	パスワードの削除を行うことができること	必須			
利用者情報	パスワード発行	04062	パスワードの削除を行った場合、館内OPAC/webOPAC/電子書籍等のパスワードが必要なサービスを利用不可にできること	必須			
利用者情報	利用者コメント	04063	利用者コメントを複数登録できること　また、利用者コメント登録・修正・削除が可能なこと	必須			
利用者情報	利用者コメント	04064	利用者コメント登録時、「利用者に公開する」チェックを行えること。この場合、利用者がwebOPAC／館内OPACにログイン際にそのコメントを確認することができること				
利用者情報	利用者コメント	04065	利用者コメントにメールアドレス確認を設定した場合、利用者がOPAC・webOPACでログインした際にメールアドレスの確認が必要である旨を知ることができること				
利用者情報	利用者コメント	04066	複数の利用者コメントが一覧できること。	必須			
利用者情報	督促	04067	該当利用者に対して現在貸出中の資料に督促された資料がある場合、督促の履歴が表示されること　または督促の履歴の表示画面に遷移できること	必須			
利用者情報	督促リスト	04068	督促者の詳細画面の表示をワンタッチでできること	必須			
利用者情報	督促リスト	04069	督促一覧画面から督促連絡済として督促回数をカウントアップできること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
利用者情報	督促リスト	04070	督促回数はカウントアップの取消等、増減訂正可能であること				
利用者情報	督促リスト	04071	督促一覧から任意に督促はがきまたは督促状の印刷が可能なこと				
利用者情報	Web仮登録申請確認	04072	We仮登録申請者について、利用者登録申請番号に加え、氏名・電話番号でも検索が可能であること。氏名・電話番号等で検索した場合、既存の本登録・仮登録の利用者情報を含めて検索・一覧表示できること				
利用者情報	Web登録申請確認	04073	web仮登録申請について、業務端末から申込情報の印刷が可能であること				
利用者情報	Web登録申請確認	04074	web仮登録申請について、業務端末から申込情報の削除が可能であること				
利用者情報	貸出一覧画面	04075	当該利用者の既貸出資料の一覧情報として、資料番号／タイトル／巻次／貸出日／返却日／処理館／予約の有無 等の情報が表示され、さらに資料毎に延滞資料など特定の状態であることを強調するための表示が可能であること　また、一覧表示される項目や項目位置について導入時に設定可能なこと	必須			
利用者情報	貸出一覧画面	04076	既貸出資料情報については自館で貸出した資料のみの表示、全館分表示の切り替えが可能なこと。初期表示をどちらにするかは設定可能なこと				
利用者情報	貸出一覧画面	04077	表示された既貸出資料情報については、貸出館毎に返却予定日順にソートされて表示されること（館については、自館を優先して表示できること）				
利用者情報	貸出一覧画面	04078	表示された既貸出資料情報の行数について設定により変更できること				
利用者情報	貸出一覧画面	04079	貸出中の資料に関する詳細情報に展開し確認することができること　また詳細情報から資料情報の修正を行うことができること				
利用者情報	貸出一覧画面	04080	貸出処理済の資料の返却期限変更ができること　個別に変更できるとともに、複数資料を指定して、一括変更もできること	必須			
利用者情報	延長処理	04081	延長後の返却期限日として指定した日が過去の日付の場合はメッセージを表示し、延長実施・中止を選択できること。なお過去の日付を返却期限日として設定することができること	必須			
利用者情報	延長処理	04082	延長による新たな返却期限日は、当日を基準に貸出規則毎に設定された延長日数分を加算されること。求めた返却期限日が資料貸出窓口館の休館日にあたる場合、その日以降で最も近い開館日を返却期限日とできること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
利用者情報	延長処理	04083	協力貸出資料を延長する場合、メッセージを表示して延長の可否を選択できること	必須			
利用者情報	延長処理	04084	延長処理数は貸出数と別に統計が可能なこと	必須			
利用者情報	メール配信	04085	利用者の貸出状況に応じ、貸出資料返却日通知メール・督促メールの配信ができること。配信を行う利用者の貸出状況に関してはパラメータ設定で調整が可能であること	必須			
利用者情報	メール配信	04086	同一利用者の複数のメールアドレスにメールを配信することが可能なこと				
利用者情報	メール配信	04087	複数配信の場合、配信数について利用者単位・メール単位のどちらでも統計データの取得が可能であること				
利用者情報	メール配信	04100	利用者宛メールが送信エラーとなった場合、利用者ごとにどのアドレスがいつエラーになったのかを記録し、業務画面及び帳票（データダウンロード含む）で状況を確認できる				
利用者情報	メール配信	04101	送信エラーとなったメールアドレスへの配信を中止する機能があること。配信中止となったメール送信内容を何らかの方法で職員が確認でき、職員の操作により配信中止状態を解除する機能があること。				
利用者情報	紛失賠償処理	04088	利用者から資料の紛失（亡失）の届け出を受けて貸出一覧画面から対象資料を選択し、そのぞれに紛失の区分設定ができること（紛失処理）。また一括での区分設定も可能であること。紛失の区分は２種類（賠償中・調査）以上から選択で、貸出中利用者番号を残す／残さないの選択ができること	必須			
利用者情報	紛失賠償処理	04089	紛失処理後、区分を賠償中に設定したものを選択して「賠償依頼票」としてＰＤＦ等でデータ出力・印刷ができること。依頼票の様式は図書館で指定できること	必須			
利用者情報	紛失賠償処理	04090	利用者貸出一覧に紛失や賠償中資料を表示する／しないの制御ができること。また、紛失中・賠償中資料を貸出票に印字する／しないを選択して設定できること				
利用者情報	紛失賠償処理	04091	紛失処理され賠償などの事後処理が完了していない資料は、その資料を借りている利用者の貸出上限冊数に影響を与える（貸出件数に含める）かどうか設定可能なこと	必須			
利用者情報	紛失賠償処理	04092	紛失処理中の資料が発見された場合、紛失状態を解除することができること。この場合、貸出中利用者番号を残す／残さないの選択が可能であること	必須			
利用者情報	紛失賠償処理	04093	利用者からの賠償資料の提供があった場合、紛失処理中の資料を「賠償済」として更新し、当該利用者の貸出一覧から解除することができること。またこの時、賠償受領の確証として、賠償中資料の一覧帳票を出力することができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	基本要件	05001	資料検索は「番号検索」「全項目検索」「複合検索」「分類検索」「典拠検索」「履歴検索」の６種類の検索が可能なこと	必須			
資料検索	検索画面	05002	各検索はシームレスに運用、もしくはワンタッチでの切替が可能なこと　業務グループごとに初期検索項目の設定が可能なこと	必須			
資料検索	検索画面	05003	検索ワード以外の検索条件（検索項目初期値、検索対象条件）を保存でき、画面起動時に保存した状態に復元して表示することができること				
資料検索	検索画面	05004	中間一致（～を含む）では、英字或いは英数字で構成される文字列（それ以外の文字でも当然ヒットさせること）を検索する際も、単語や分かちに関係無く、単語の一部等でもヒットすること	必須			
資料検索	検索画面	05005	濁音、半濁音、拗音、促音、長音については、その有無や大小に関わらず検索することができること　　また図書館の指定する記号等の文字については正規化(清音化)処理を行なって検索ができること（を→お、わ→は、え→へ等）	必須			
資料検索	検索画面	05115	前項正規化(清音化)について、オプション操作によりOFFにして検索を行うことができること				
資料検索	検索画面	05006	図書、雑誌、ＡＶ等の資料種別に関係なく横断的に検索することができること　また資料種別は図書館で変更可能であり、その種別の絞込みによる検索も可能であること	必須			
資料検索	検索画面	05007	検索キー入力枠に複数の検索キーを空白で区切って入力することで、and検索できること				
資料検索	検索画面	05008	書誌種別・出版年月（発行年月も可能）・所蔵館・帯出区分・場所区分・所蔵状況・状態区分・言語区分・巻号・通番・資料区分を検索条件として指定できること	必須			
資料検索	検索画面	05009	所蔵あるなしにかかわらず、登録された全書誌を対象とした検索や、任意の館（複数選択可）に所蔵がある書誌を対象とした検索を行うことができること	必須			
資料検索	検索画面	05010	ワンクリックで入力した検索条件をすべてクリアして新たな検索条件で書誌検索を行うことができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	検索画面	05011	あらかじめ設定した件数より、資料検索のヒット件数が多い場合、検索を続けるか確認できること				
資料検索	検索画面	05012	特に指定のない限り、検索結果は検索結果書誌一覧で表示されること	必須			
資料検索	番号検索	05013	資料番号・タイトルコード・ISBN／ISSN／発売コード・マーク番号・注文番号・雑誌コード・JANコード・予約受付番号等の番号で検索ができること　また、検索項目については図書館で設定・変更が可能であること	必須			
資料検索	番号検索	05014	番号検索で、資料番号やタイトルコード・発注番号など、一意に書誌や資料、発注情報が特定できる場合、資料詳細画面へ直接展開できること　資料詳細画面からは予約情報、発注情報等に展開可能なこと				
資料検索	番号検索	05015	番号検索で、ISBN等で指定したコードに一致するデータが複数存在した場合には、該当する書誌の一覧を表示する画面に展開すること				
資料検索	全項目検索	05016	全項目検索では、書名などに限定されず、すべての書誌情報に対して検索が行われること	必須			
資料検索	全項目検索	05017	全項目検索では、導入時に指定する優先項目に従いソートされること				
資料検索	全項目検索	05018	全項目検索後の結果一覧および詳細画面ではヒットしたワードがハイライト表示されること				
資料検索	全項目検索	05019	その他検索結果書誌一覧と同等の機能をもつこと				
資料検索	複合検索	05020	検索対象項目を設定できる入力欄を複数持ち、論理式（AND検索、OR検索、NOT検索）の指定と一致条件（前方一致、中間一致、完全一致）の指定をした検索が可能であること　検索対象項目については初期項目を設定でき、検索キーが入力されている項目のみ検索対象とすること	必須			
資料検索	複合検索	05021	複合検索では、表記のみ、ヨミのみを指定しての検索が可能であること	必須			
資料検索	複合検索	05022	複合検索では、書名・著者名・出版者・件名・内容注記・全項目から検索を行うことができること　コードの検索としては、分類・ISBN・タイトルコードから検索できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	複合検索	05023	請求記号検索として別置記号、請求記号（１～３）での検索が可能であること	必須			
資料検索	複合検索	05024	複合検索用のすべての検索対象項目については導入時に設定・変更が可能であること	必須			
資料検索	複合検索	05025	検索結果に対して、絞込検索ができること				
資料検索	複合検索	05026	絞り込みの設定は、対象項目を選択し　対象となるコード値を一覧から複数選択する。といった形にて簡単に設定することができること				
資料検索	複合検索	05027	所蔵項目による絞り込みは複数項目の掛け合わせ検索にて行うことができること				
資料検索	複合検索	05028	絞り込み条件の追加・変更・削除は絞り込み項目単位で行うことができること				
資料検索	複合検索	05029	件名を検索する場合は、一般件名と郷土件名を意識せずに検索できること	必須			
資料検索	分類検索	05030	分類で検索する場合は、分類番号の直接入力により、該当書誌の検索が可能なこと				
資料検索	分類検索	05031	ＮＤＣの相関索引を利用することにより分類を検索し、検索結果から該当書誌の検索が可能なこと				
資料検索	典拠検索	05032	典拠検索では、典拠キーまたは典拠コードのいずれかを入力して、典拠の検索を行うことができること				
資料検索	典拠検索	05033	典拠検索キーは２つ以上入力可能なこと				
資料検索	典拠検索	05034	典拠検索で、典拠キーを入力した場合は、典拠区分を選択し検索内容を絞り込むことができること				
資料検索	典拠検索	05035	典拠キーは「～で始まる（前方一致）」・「～を含む（中間一致）」・「～と一致する（完全一致）」の検索条件を選択できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	典拠検索	05036	典拠区分は、著者・個人件名・一般件名・学習件名・出版者・全集・シリーズから指定できること				
資料検索	典拠検索	05037	典拠一覧より選択した典拠に対する書誌一覧、典拠詳細、典拠参照、相互参照画面を表示することができること				
資料検索	履歴検索	05038	検索した結果は履歴（検索条件・ヒット件数）として残し、再検索をしなくても履歴を選択することで検索結果への遷移が可能であること				
資料検索	履歴検索	05039	検索履歴は、ログインＩＤ毎に一定期間保持されること				
資料検索	履歴検索	05040	検索履歴から条件を再度検索時の入力画面へ反映することができること　（例：過去の検索に条件を追加し、再度検索することができる）				
資料検索	履歴検索	05041	履歴をクリアしたい時は、ワンタッチで履歴をクリアすることも可能であること				
資料検索	検索結果書誌一覧	05042	検索結果書誌一覧から、書誌を選択することで書誌詳細と資料一覧へ展開することができること　　雑誌基本情報の場合は巻号一覧に展開することができること	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05043	資料検索のヒット件数が１件の場合、自動的に資料一覧画面に遷移することができること				
資料検索	検索結果書誌一覧	05044	検索結果書誌一覧の並び順を書名・著者名・出版者・分類・出版年・書誌種別から指定できること　初期値を設定可能なこと	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05045	一覧に表示する情報として、書名／著者名／出版者／出版年/書誌種別／分類／予約数/注文数/所蔵数/貸出可能数等の情報が表示されること　また、一覧表示される項目や項目位置は導入時に設定できること	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05046	資料の状態により貸出可能数に含めるか含めないかを導入時に設定できること	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05047	検索結果書誌一覧に表示されている書誌情報は、書名順・著者順/出版者順・出版年月順・書誌種別順・分類順に動的に並べ直すことができること　昇順降順ができること　並べ替え項目は導入時に指定できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	検索結果書誌一覧	05048	検索結果について、キーワードによる絞込、またはキーワード追加による再検索ができること。 キーワードは書名（内容細目を含む）・著者名・出版者・件名・分類・内容注記・全項目から指定できること	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05049	書誌に変遷情報がある場合、変遷情報を確認できる機能をもつこと				
資料検索	検索結果書誌一覧	05050	書誌一覧より選択した書誌の予約者一覧を表示することができること	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05051	書誌一覧より選択した書誌に対して予約入力・書誌修正・発注・受入が可能なこと	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05052	検索結果書誌一覧で複数冊の資料を選択した状態で、それらの情報を引き継いで予約画面へ遷移することが可能であること	必須			
資料検索	検索結果書誌一覧	05053	検索結果書誌一覧のＣＳＶ形式への出力が可能であること				
資料検索	検索結果書誌一覧	05054	検索結果の該当件数を一覧に表示することができること				
資料検索	検索結果書誌一覧	05055	検索結果の該当ページ数（何ページ目を表示しているか）を一覧に表示することができること				
資料検索	検索結果書誌一覧	05056	検索時に入力した検索値を一覧画面に表示することができること				
資料検索	検索結果書誌一覧	05057	検索結果一覧は、1書誌につき上限３行以内で十分な書誌情報を表示できること　表示する書誌項目は設定により変更できること				
資料検索	資料一覧	05058	資料一覧画面に表示する書誌情報は、書名・著者名・出版者・出版年月・タイトルコード・書誌種別・大きさ・頁数・ISBN・副書名・分類・所蔵状況（所蔵数・在庫数・予約数・発注数）などを表示できること	必須			
資料検索	資料一覧	05059	資料一覧で資料情報は、図書・視聴覚・雑誌（逐次刊行物）に関わらず同様の画面を表示できること				
資料検索	資料一覧	05060	資料一覧から選択した資料について、資料請求票をレシートに印刷することができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	資料一覧	05061	資料請求票へ印字する資料情報については、印字内容を導入時に設定できること　導入後の設定変更も可能なこと				
資料検索	資料一覧	05062	資料請求票は任意の場所のレシートプリンタで印刷できること	必須			
資料検索	資料一覧	05063	資料一覧から該当書誌の発注一覧・予約者一覧に遷移できること　資料一覧の該当件数は、除籍資料を除いて表示できること	必須			
資料検索	資料一覧	05064	資料一覧に表示される各資料について、その資料の状態等、図書館にて決めた条件により色分けして表示することができること				
資料検索	資料一覧	05065	資料一覧から選択した資料の製本状況を確認できること	必須			
資料検索	資料一覧	05066	資料一覧の各項目から、動的に昇順降順に並び替えができること				
資料検索	資料一覧	05067	資料一覧で選択した資料が貸出中資料の場合、利用者の詳細画面へ展開することができること	必須			
資料検索	資料一覧	05068	資料一覧から、資料を選択して資料の詳細画面へ展開することができること	必須			
資料検索	資料一覧	05069	資料一覧から選書指定ができること（選定処理ができること）				
資料検索	資料一覧	05070	資料一覧画面に表示する資料情報は、「全資料」「不明・除籍は除く」など、資料の状態により表示の可否が制御できること	必須			
資料検索	資料一覧	05071	検索結果一覧に戻ることなく、前・次の資料の詳細を表示することが可能であること	必須			
資料検索	資料一覧	05072	資料一覧画面から予約が可能であること	必須			
資料検索	資料一覧	05073	資料一覧は、自館資料を先頭に表示できること	必須			
資料検索	書誌詳細	05074	書誌詳細から、該当書誌の資料一覧・発注一覧・予約者一覧に遷移できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	書誌詳細	05075	書誌の情報の表示方法として目録カード形式以外にタグ表示ができること　その際タグ名だけでなく日本語表示もなされること	必須			
資料検索	書誌詳細	05076	所蔵の状態として利用可能数・所蔵数・発注数・予約数が表示されること　また、それらの数は自館、全館合計の数が表示されること	必須			
資料検索	書誌詳細	05077	書誌詳細画面から、書誌修正画面・タグ一覧画面・予約詳細画面・発注画面・受入画面へ展開することができ、それぞれの機能が使用できること	必須			
資料検索	書誌詳細	05078	書誌詳細画面で雑誌の場合、巻号の一覧画面へ展開することができること	必須			
資料検索	資料詳細	05079	資料詳細画面からは、所蔵館・請求記号・資料種別・帯出区分・登録日・場所区分・媒体種類・製本区分・割当開始日・保存区分・付録区分・受入日・受入先・定価・受入価格・版年・文庫区分・受入区分・予算区分・値引率・状態区分・旧状態区分・弁償期限・最新処理窓口・資料コメント・蔵書点検処理日・累積貸出回数などを導入時の設定に従い表示できること	必須			
資料検索	資料詳細	05080	資料詳細画面から付録資料の存在有無を確認できること	必須			
資料検索	資料詳細	05081	資料詳細画面から、過去5年分の年度ごとの貸出数と累計の貸出数を表形式で参照できること				
資料検索	逐次刊行物	05082	逐次刊行物の場合に発行年月日の絞込みによる巻号の一覧表示が可能であること	必須			
資料検索	逐次刊行物	05083	雑誌基本情報画面では、雑誌巻号の受入状況と所蔵がビジュアルなイメージで確認できる画面があること				
資料検索	逐次刊行物	05084	雑誌の誌名情報（基本情報）より巻号一覧を表示することができること	必須			
資料検索	逐次刊行物	05085	雑誌巻号の内容細目で検索を行った場合、書誌一覧から該当巻号情報に移動できること				
資料検索	逐次刊行物	05086	巻号一覧より巻号情報を選択し、巻号詳細、資料一覧、予約者一覧画面を表示することができること	必須			
資料検索	逐次刊行物	05087	巻号一覧には、発行日や巻号表記など巻号の書誌情報が表示されること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	逐次刊行物	05088	巻号一覧では発行日や巻号標記などでの並べ替えが可能なこと				
資料検索	逐次刊行物	05089	巻号一覧から、基本情報の詳細画面、巻号情報の詳細画面へ展開できること	必須			
資料検索	逐次刊行物	05090	巻号一覧から、製本されている製本資料の一覧画面へ展開できること	必須			
資料検索	逐次刊行物	05091	巻号一覧より選択した巻号に対して予約をすることができること	必須			
資料検索	逐次刊行物	05092	巻号一覧に表示した巻号情報をCSV形式でダウンロードすることができること				
資料検索	逐次刊行物	05093	巻号一覧から、複本処理／書誌統合の画面へ移動することができること				
資料検索	逐次刊行物	05094	変遷情報がある場合、変遷情報を確認できる機能をもつこと	必須			
資料検索	予約者一覧	05095	書誌に対する予約者の一覧を表示できること	必須			
資料検索	予約者一覧	05096	予約者一覧では、予約受付番号・利用者番号・資料番号・予約日時・割当日時・予約窓口・最新処理窓口・受取窓口・予約状態・連絡方法・予約コメント・予約区分などの情報を表示することができること　これらは設定で表示する項目を変更できること				
資料検索	予約者一覧	05097	予約者一覧で予約情報は、図書・視聴覚・雑誌（逐次刊行物）に関わらず同様の画面が表示されること				
資料検索	予約者一覧	05098	予約者一覧から、選択した予約が割当済みの場合は、割当資料番号の資料詳細に展開することができること	必須			
資料検索	予約者一覧	05099	予約者一覧から、予約入力ができること				
資料検索	予約者一覧	05100	予約の確保依頼先を任意の館に変更できること　その際コメントを登録することができること　（例：不明のため回収できず）	必須			
資料検索	予約者一覧	05101	予約の受付時刻を変更する等して優先順位を変更することができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料検索	予約者一覧	05102	予約者一覧から、選択した予約に対する利用者の詳細画面へ展開できること	必須			
資料検索	予約者一覧	05103	予約者一覧から該当の予約を選択し、修正を行うことができること	必須			
資料検索	予約者一覧	05104	予約者一覧から、選択した予約情報の詳細画面へ展開することができること	必須			
資料検索	予約者一覧	05105	予約者一覧から、予約割当の解除を行うことができること	必須			
資料検索	セット本	05106	セット本の一覧画面へ展開できること、セット子資料からも展開できること	必須			
資料検索	協力貸出	05107	書誌詳細画面から、相互貸借借受依頼情報の登録画面に展開できること	必須			
資料検索	協力貸出	05108	資料一覧で相互貸借借受資料は、色を変えてわかりやすく表示できること	必須			
資料検索	発注一覧	05109	資料に関する既発注の一覧を表示することができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
予約	基本要件	06001	書誌に対して貸出予約の登録を行うことができること	必須			
予約	基本要件	06002	業務システムで予約登録を可能とする条件は以下とする ・貸出可能な所蔵資料がある場合 ・貸出不可能な所蔵資料しかない場合、確認ポップアップを出してOK応答を選択した場合 ・貸出可能な所蔵資料はないが注文中の資料がある場合は確認ポップアップを出してOK応答を選択した場合 ・貸出可能な所蔵資料はないが相互貸借借受依頼情報がある場合は確認ポップアップを出してOK応答を選択した場合 ・書誌情報のみの場合でも確認ポップアップを出してOK応答を選択した場合	必須			
予約	基本要件	06003	予約したタイトルや資料の状態に応じて、以下の予約状態のステータス管理ができること ①未発注　②発注中　③返却待ち　④確保依頼中（在庫の資料に予約）　⑤回送中　⑥割当中　⑥資料指定予約（特定資料番号に予約）　⑦取消（予約キャンセル）	必須			
予約	基本要件	06004	予約割当票・予約割当待ち票（セット予約したもののうちの個別の予約割当票）に利用者バーコードを印字できること				
予約	予約制限	06005	予約の内訳（冊数、有効期限、取置期間）は、利用者資格区分（個人・団体・協力館等）毎に、予約規則区分（図書・雑誌・AV等）＋「全体」の単位で設定が行え自由に変更できること　予約時には、予約規則区分と「全体」の設定でどちらか小さい方の条件で制限がかけられること	必須			
予約	予約制限	06006	利用者の貸出中資料に延滞資料がある場合、その利用者が行う予約を制限することができること				
予約	予約登録	06007	利用者番号・予約窓口・連絡方法・予約日時・受取窓口・連絡先・書名通知区分・予約指定館・予約コメント・予約期限などを入力して予約を行うことができること	必須			
予約	予約登録	06008	予約登録業務画面で利用者番号を入力した場合、その利用者の氏名等の情報が表示されること	必須			
予約	予約登録	06009	予約登録業務画面で入力した利用者に長期延滞資料がある場合はメッセージを表示できること	必須			
予約	予約登録	06010	予約登録業務画面で入力した利用者に、利用者コメントがある場合はメッセージを表示できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
予約	予約登録	06011	予約登録時、利用者番号がシステムに登録されていない場合、未登録である旨のメッセージが表示されること				
予約	予約登録	06012	予約登録時、該当利用者が無効利用者の扱いになっていた場合は、その旨のメッセージを表示した上で処理を継続することができること。または予約を継続するかのメッセージを表示し、職員に判断を求めることができること　またはメッセージを表示した上で、処理を先に進めないことができること	必須			
予約	予約登録	06013	予約登録画面から入力済み利用者の詳細画面に遷移し、遷移先からバックできること	必須			
予約	予約登録	06014	予約登録画面から該当資料の書誌詳細画面に遷移し、遷移先からバックできること	必須			
予約	予約登録	06015	予約登録時、利用者に対し設定した予約最大点数を超える場合はメッセージを表示できること。その際、職員の判断により強制的に予約最大数を超えて予約登録を行う選択ができること	必須			
予約	予約登録	06016	予約時に同じ利用者が同じ書誌に予約をかけている場合は、その旨を表示し予約処理をできないようにすること。または、利用者区分によっては予約可能とできること	必須			
予約	予約登録	06017	本人が現在貸出している書誌に予約をする場合、その旨を表示し予約処理を継続するかどうか確認できること	必須			
予約	予約登録	06018	利用者用の控えとして、予約登録時に予約票をレシートに印刷するシステム初期設定が可能なこと				
予約	予約登録	06019	予約コメントを登録できること　またコメント登録窓口・登録日・入力者を登録することができること				
予約	予約登録	06020	特別予約（択一予約：２つ以上の予約でどれかがが割当された場合は、他の予約を自動的にキャンセル）が可能なこと	必須			
予約	予約登録	06021	順番予約（多巻本などの受け取り順番を任意に指定して予約）が可能なこと	必須			
予約	資料指定予約	06022	同一書誌に複数の所蔵資料がある場合、特定の資料を指定して、予約できること	必須			
予約	指定館予約	06023	予約登録の際に、資料の所蔵館を指定することができること　（指定館予約）				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
予約	利用者予約一覧	06024	利用者予約一覧画面として以下の情報が表示されること（予約受付館/予約番号/タイトルコード/受付日/タイトル等書誌情報／受取館／予約順位/複本数/確保している場合は確保資料番号/割当日/取置期限）　表示する情報は導入時に図書館で設定できること	必須			
予約	利用者予約一覧	06025	予約一覧画面では自館で確保されている資料を分かりやすく、かつ優先表示できること	必須			
予約	利用者予約一覧	06026	該当の利用者の予約一覧画面から予約詳細画面へワンタッチで遷移できること	必須			
予約	利用者予約一覧	06027	利用者予約一覧画面から資料詳細画面に展開し確認することができること	必須			
予約	利用者予約一覧	06028	利用者予約一覧画面は、受取希望館「自館」「全館」で表示の切り替えができること。また、初期表示は取り消されていない予約のみとし、切替により取消済の予約を含んだ一覧を予約受付順に表示することが出来ること	必須			
予約	利用者予約一覧	06030	利用者予約一覧画面から、予約済の資料を特別予約に変更できること　また特別予約を通常予約に変更できること				
予約	利用者予約一覧	06031	択一予約については、設定によって確保数を指定して複数冊割当されたら残りの予約をキャンセルすることもできること　（１０冊予約をし、択一予約化。確保数を３と指定した場合は３冊まで割当を行い、３冊目が割当された時点で残り７冊をキャンセルする　など）				
予約	利用者予約一覧	06032	利用者予約一覧画面から、予約状況票レシートの印刷ができること				
予約	利用者予約一覧	06033	利用者予約一覧から取消済みの予約を選択して予約をかけなおすことができること				
予約	利用者予約一覧	06034	予約一覧画面から予約の取置期限変更処理が可能であること				
予約	利用者予約一覧	06035	予約一覧画面から予約・割当の取消処理が可能であること	必須			
予約	利用者予約詳細	06036	予約詳細画面から、利用者予約一覧・利用者詳細に展開できること	必須			
予約	利用者予約詳細	06037	予約詳細画面から、予約データに対して予約連絡済設定ができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
予約	利用者予約詳細	06038	該当の予約の状況がどのようになっているかを確認することができること　依頼からの過程も確認することができること	必須			
予約	利用者予約詳細	06039	利用者への予約連絡日時が確認可能であること	必須			
予約	利用者予約詳細	06040	予約一覧画面に戻ることなく、前・次の資料の予約詳細画面を表示することが可能であること				
予約	予約取消	06041	予約の取り消しができること　また取消しした情報は取消し状態として残し、後日確認することができること　取消の際には取消理由を選択できること	必須			
予約	予約取消	06042	予約取消を行った場合で、予約取消理由が入力されていない場合にメッセージを表示できること	必須			
予約	予約修正	06043	予約後に予約の情報を修正することが可能であること	必須			
予約	利用者予約一覧	06029	予約後に修正できる項目の中には予約日も含み、予約日は過去の日付を指定することもできること。	必須			
予約	予約修正	06044	予約の日付を変更した場合は予約の優先順位も変更されること	必須			
予約	予約修正	06045	予約取消しの権限は、業務グループによって可・不可を制御できること	必須			
予約	予約修正	06046	予約変更・取消しの操作ログについて、システム管理者が確認可能なこと	必須			
予約	取置期限	06047	予約が割当された際に自動的に予め設定された日数で取置期限日が設定されること	必須			
予約	取置期限	06048	取置期限の既定値は、開館日数で設定ができること				
予約	取置期限	06049	予約割当資料の取置期限の変更を行うことができること	必須			
予約	予約割当	06150	予約割当は、予約の受付順（受付日時の早い順）に行うこと。受付日時は秒単位以上の精度で記録し、同一時刻の受付があった場合でも予約順位が一意に定まること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
予約	予約割当	06050	予約の割当が行われた場合に予約割当票がレシート出力可能であること	必須			
予約	予約割当	06051	予約割当票には以下の情報が表示されること　（出力日時／受取館／予約の連絡方法／利用者番号／利用者名よみ頭３文字／利用者名よみ／／予約日時／資料番号／タイトルコード／書誌情報／受付館）　項目ごとに表示、非表示の設定が可能なこと　レイアウトについても任意に設定できること	必須			
予約	予約割当	06052	確保除外に該当する資料の場合は予約の割り当てが行われないこと	必須			
予約	予約割当	06053	予約した資料が指定された受取館以外で割当られた場合はその旨を表示し、予約回送票として出力が可能であること　また自動的に受取館への回送状態として設定されること（所蔵一覧などで回送状態と確認できること）	必須			
予約	確保依頼	06054	予約処理館に割当可能な資料がなく、他館に割当可能な資料がある場合は自動的にその館へ依頼がかかること	必須			
予約	確保依頼	06055	複数の館に在庫資料がある書誌に予約を行った場合、設定にしたがって、特定の館にのみ確保依頼を行うことができること				
予約	確保依頼	06056	確保依頼がかかっている資料を一覧で確認できること	必須			
予約	確保依頼	06057	確保依頼一覧は、館による絞込みができること	必須			
予約	確保依頼	06058	確保依頼一覧では、資料番号・資料種別・書誌情報・受取窓口・場所区分・請求記号・予約日時・予約窓口などが確認可能なこと	必須			
予約	確保依頼	06059	確保依頼一覧では場所区分・館・資料区分・請求記号・書名などソート順を指定して出力できること	必須			
予約	確保依頼	06060	確保依頼一覧に表示されている情報を選択し、書誌詳細・資料一覧・利用者詳細へ展開ができること				
予約	確保依頼	06061	確保資料が見つからない場合は、該当書誌を一覧から選択して、不明返信処理を行うことで、資料状態を書架あり不明に設定し、次の確保依頼館へ確保依頼が移ること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
予約	確保依頼	06062	確保依頼がされる際にその館に所蔵している分以上の予約依頼の件数が来ないように制御されること	必須			
予約	予約連絡	06063	予約準備ができた資料について、図書館から連絡した後、利用者ごとに連絡済設定をできること	必須			
予約	予約連絡	06064	電話連絡の場合は「連絡済設定」ボタンを押すことで、該当予約は「予約連絡済」の状態になり、予約取り置き期限が自動で再設定されること　メールの場合はメール発送時点、連絡不要の場合は確保時点から予約取置き期限が自動で設定されること	必須			
予約	予約連絡	06065	予約連絡一覧は、受取館で絞込みができること	必須			
予約	予約連絡	06066	予約連絡一覧には、連絡状況・利用者番号・利用者名カナ・連絡方法・電話番号・メールアドレス、書名通知区分・予約割当日・自館予約割当数・他館予約割当数・連絡済数などが表示されること	必須			
予約	予約連絡	06067	予約連絡一覧に表示されている情報を選択し、貸出一覧・利用者予約資料一覧・予約利用者の詳細へ展開ができること	必須			
予約	メール	06068	予約資料準備の連絡を利用者がe-mailにより通知することを希望した場合、予約棚あり状態になった後、所定の時間にe-mailを発信することができること　mail発信にあわせ予約情報を予約連絡済みにして取置き期限を自動で再設定できること	必須			
予約	割当解除	06069	予約割当された資料の予約割当の解除を行う際には、予約自体の取消の有無、次の人へ予約割当する／しないを選択できること　またその際に予約割当票または予約回送票の出力が可能であること	必須			
予約	割当解除	06070	割当済みの資料を解除した場合は、予約取消票のレシート出力が可能であること				
予約	予約取置期限切れ一覧	06071	日時を指定して予約取置期限切れ一覧画面を表示、出力可能なこと	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
予約	予約一括解除	06072	取消理由を指定し、資料番号を連続して読み取ることで、連続して予約割当資料の予約取消を行う予約一括解除機能があること　この際、次の予約がある場合は順位に基づいて予約割当が発生するなど、1件毎の予約取消と同等の機能であること　（取置期限切れの予約割当資料を連続で取消などで使用）				
予約	予約一括解除	06073	予約一括解除した情報は一覧に表示されること				
予約	予約データ削除	06074	取消日からの経過日数などによって、バッチにより取消済みの予約データを一括して削除することができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
相互貸借	基本要件	07001	他の自治体等の図書館から資料を借りる場合、借受対象1件につき1レコード借受依頼情報を生成し受取りや貸出、返送状況を管理できること	必須			
相互貸借	基本要件	07002	借受依頼情報は書誌情報とリンクし、依頼日・依頼元館・依頼先館・借受状態（借受終了・依頼中・依頼済・受取済など）・借受期限（返送期限）・備考等の登録ができること。項目によっては、自動的に設定されること	必須			
相互貸借	基本要件	07003	借受依頼対象書誌の書誌情報が存在しない場合、相互貸借用書誌を簡易に作成し、借受依頼情報とリンクできること	必須			
相互貸借	基本要件	07004	借受依頼対象書誌情報に対し予約処理を行うことで、借受資料を利用者に割り当てることができること	必須			
相互貸借	基本要件	07005	借受依頼情報とリンクする依頼先館の情報は、自治体名・図書館名および独自に採番した番号（貸出カードの番号と同種）で検索・選択して登録できること	必須			
相互貸借	基本要件	07006	依頼先館の情報には、所在自治体名・図書館名・電話番号・FAX番号・Emailアドレス・郵便番号・所在地住所・備考コメントを登録できること	必須			
相互貸借	基本要件	07007	借受依頼情報とリンクする依頼元館（借受館）は自館の館・窓口の一覧から選択し登録できること	必須			
相互貸借	基本要件	07008	登録された借受依頼情報は依頼日・依頼元館・依頼先館等をキーにして検索し、該当する借受依頼一覧を表示することができること	必須			
相互貸借	借受依頼一覧	07009	借受依頼一覧では、借受対象書誌の書誌情報（タイトルコード含む）・依頼元館・依頼日・依頼先館・借受日・借受期限・借受状態・資料コメントを表示できること				
相互貸借	借受依頼一覧	07010	借受依頼一覧では、依頼日・依頼元館・依頼先館毎に昇順降順で並び替えができること				
相互貸借	借受依頼一覧	07011	借受依頼一覧で（検索画面に戻らず）、依頼日・依頼元館・依頼先館・借受状態で絞り込みができること				
相互貸借	借受依頼一覧	07012	借受依頼一覧から借受依頼情報を選択し、書誌の詳細へ展開することができること				
相互貸借	借受依頼一覧	07013	借受依頼一覧から借受依頼情報を選択し、借受依頼情報の詳細へ展開することができること	必須			
相互貸借	借受依頼一覧	07014	仮受け依頼一覧から複数選択して一括削除できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
相互貸借	借受情報詳細	07015	登録されている依頼先館の連絡先や所在地住所、備考コメントを確認できること				
相互貸借	借受情報詳細	07016	借受依頼情報詳細から、借受情報の変更と削除を行うことができること	必須			
相互貸借	借受情報詳細	07017	資料受取処理後も借受期限（返送期限）を変更できること				
相互貸借	借受情報詳細	07018	借受情報詳細画面から受取処理を行えること	必須			
相互貸借	受取・返送	07019	借受資料は受取処理後、資料情報として図書館情報システムに登録し、検索（業務端末）、予約割当、貸出、貸出状況照会（業務端末・OPAC系共）、督促、返却処理を行うことができること	必須			
相互貸借	受取・返送	07020	借受資料は特別な資料種別で登録するなど、他の通常自館所蔵資料と異なることが明確に分かるよう表示し、利用統計や蔵書統計も別で計上できること	必須			
相互貸借	受取・返送	07021	借受資料受取処理を行った館・窓口は依頼元館とは別に、窓口館（処理館）として資料情報上認識できること	必須			
相互貸借	受取・返送	07022	借受資料受取処理時、その借受資料の資料番号を付与する。資料番号は、打鍵（もしくはバーコードリーダ）による入力、またはシステム自動採番のいずれかの方法でシステム導入時に設定可能であること	必須			
相互貸借	受取・返送	07023	借受資料に付与する資料番号は、桁数・チェックディジットによる妥当性チェックモードと、フリーモード（借受依頼館が付けている資料番号を使用するそのまま使用する運用）のいずれか、もしくは共存をシステム導入設定として選択できること	必須			
相互貸借	受取・返送	07024	借受資料受取処理時、打鍵もしくは自動採番した資料番号およびそのバーコードを受取票としてレシート印字できること	必須			
相互貸借	受取・返送	07025	受取票には資料番号・バーコードの他、依頼館名、受取処理を行った館（窓口館・処理館）が印字されること	必須			
相互貸借	受取・返送	07026	レシート印字不良対策として、受取票レシートは再出力できること				
相互貸借	受取・返送	07027	受取処理の取消と、再受取処理が可能であること				
相互貸借	受取・返送	07028	受取処理を行った館と依頼元館（借受館）が異なる場合、予約回送票が出力されること	必須			
相互貸借	受取・返送	07029	受取処理を行った館と依頼元館（借受館）が同じ場合、予約割当票が印字されること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
相互貸借	受取・返送	07030	借受資料が利用者から返却された場合、通常の返却処理とは別に借受資料返送処理を行い、借受資料の依頼先館への返送状況を管理できること	必須			
相互貸借	受取・返送	07031	借受資料返送処理画面では資料番号、借受館、書誌情報、借受日、借受期限、借受先、借受状態、資料コメントが表示できること				
相互貸借	受取・返送	07032	借受資料返送処理では、資料番号を読み取るだけで、借受終了状態とし、所蔵を消すことができること	必須			
相互貸借	帳票出力	07033	依頼先館・依頼元館・受取処理日をキーに検索した結果の帳票データ出力ができること	必須			
相互貸借	帳票出力	07034	依頼先館・依頼元館、受取処理を行なった館別の借受統計を月別で出力できること	必須			
相互貸借	帳票出力	07035	借受依頼一覧または借受依頼情報詳細から選択した依頼情報を、FAXや電子メールで送信するための相互貸借依頼票として出力できること。相互貸借依頼票には依頼先館情報と帳票出力館の情報に加え、依頼対象の書誌情報（書名・著者名・出版者など、同時依頼する複数書誌分）が出力されること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
督促	基本要件	08001	督促処理は、e-mail、督促はがき、督促一覧画面（督促リスト）により行えること	必須			
督促	抽出処理	08002	督促情報の抽出にあたっては、協力貸出資料のみ抽出など、貸出窓口、資料区分、返却期限日、利用者区分、連絡方法、資料の予約の有無、督促回数といった抽出条件により抽出可能であること　また、紛失届出本については除外することができること	必須			
督促	抽出処理	08003	特別な事情から督促を行わない利用者は督促対象から除外する設定が可能であること				
督促	抽出処理	08004	条件設定し抽出した一覧から督促メールの発信、督促のはがきの印刷、一覧の印刷が可能であること	必須			
督促	督促リスト	08005	督促リストは利用者番号（バーコード含む）、利用者名、利用者名読み、連絡先、連絡先電話番号、住所、資料番号、貸出日、返却期日、請求記号、予約数、書誌情報が表示されること、出力順は電話番号順、氏名順が指定できること	必須			
督促	督促リスト	08006	督促リスト出力時は連絡方法での絞り込み、予約の有無、バーコード出力の有無を指定できること	必須			
督促	督促リスト	08007	督促帳票出力時または督促管理機能の中で、指定条件に該当する案件（利用者が借りている所蔵資料）毎に督促回数のカウントアップを一括して実行できること	必須			
督促	督促リスト	08008	督促リストは対象利用者ごとに延滞資料を貸出期限が古い順にソートして出力できること	必須			
督促	督促リスト	08009	設定した条件に合わせ、督促はがきの印刷が可能なこと　印刷後は督促連絡済として督促回数をカウントアップできること	必須			
督促	督促メール	08010	設定した条件に合わせた督促メールの送信が可能なこと　メール送信後は督促連絡済として督促回数をカウントアップできること	必須			
督促	督促メール	08011	メール発信該当者の数を確認することが可能であること　一定期間はメール発信のログを残すこと	必須			
督促	督促メール	08012	メール内容は図書館の指定により変更可能であること	必須			
督促	督促メール	08013	抽出処理と送信処理を分けて処理することも可能であること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
督促	督促メール	08014	メール送信を行った履歴を管理し確認することができるようになっていること	必須			
督促	督促メール	08015	利用者詳細画面に督促メールを送信したことがわかるよう表示できること				
督促	督促メール	08016	メールは延滞期限、督促回数によって設定した回数まで送信できること				
督促	督促メール	08017	メール送信にあたっては個人情報保護に配慮していること	必須			
督促	督促メール	08018	メールでの督促は、督促連絡先が「督促不要」の利用者には督促メール発信対象外とできること				
督促	督促メール	08019	送信を行った場合は督促回数をカウントアップできること	必須			
督促	返却日通知メール	08020	返却期限日前に利用者にメールで通知できること　何日前に通知するか導入時に指定できること	必須			
督促	返却日通知メール	08021	返却期限日前の通知について、利用者側で何日前に通知するか選択肢から選べること				
督促	返却日通知メール	08022	返却期限日前の通知について、「通知不要」の利用者には送付しないこと	必須			
督促	返却日通知メール	08023	返却期限日前の通知について、要・不要を利用者自身が選択できること				
督促	督促はがき	08024	督促はがきは個人情報保護に配慮したものであること	必須			
督促	督促はがき	08025	印刷前に該当者の数を確認できること	必須			
督促	督促はがき	08026	はがき内容は設定変更可能であること	必須			
督促	督促はがき	08027	はがきは延滞期限、督促回数合計によってパラメータにより設定した回数まで印刷されること				
督促	督促はがき	08028	利用者情報側ではがき出力対象外にするフラグ制御が可能であること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
督促	督促更新	08029	督促を行った場合は督促方法、督促日時を履歴として管理し、返却までの全ての履歴を一覧として出力できること				
督促	督促更新	08030	督促対象資料は延滞期限、督促回数によって長期延滞としての扱いが可能なこと	必須			
督促	督促更新	08031	長期延滞資料を持つ利用者に対し、利用制限をかけることができること	必須			
督促	督促更新	08032	督促対象となった資料は返却日の延長や紛失への更新ができること	必須			
督促	督促更新	08033	利用者に対する督促回数を一定の期間保持すること				
督促	督促更新	08034	利用者に対する督促回数・延滞日数のパラメータにより、利用制限をかけることができること				
督促	督促更新	08035	利用者に対する督促回数を変更できること　変更の権限は、ログインした職員IDの権限によってできる／できないを制御できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
レファレンス情報	移行	09001	レファレンス情報を登録し全館で参照共有できること	必須			
レファレンス情報	管理	09002	レファレンス情報は質問に対する回答、複数の参考文献、URL,掲載箇所、キーワード、分類が登録できること	必須			
レファレンス情報	管理	09003	質問、回答、回答プロセスについては、可変長データにより改行位置も登録・管理できること	必須			
レファレンス情報	管理	09004	レファレンス情報を更新する権限管理が行なえること　（承認待ち・承認済みへ変更できる権限の設定）　権限はシステムにログインするID毎に設定可能なこと				
レファレンス情報	管理	09005	参考文献については、タイトルコード等により、書誌検索画面へのリンクが可能なこと				
レファレンス情報	管理	09006	登録済みのレファレンス情報を国立国会図書館レファレンス協同データベース(CRD)へ提供するフォーマットでデータ抽出する機能があること	必須			
レファレンス情報	管理	09007	レファレンスデータの状態を管理可能なこと　状態とは、新着・未調査・回答中・回答完了・公開編集中・査閲待ち・承認待ち・承認済である。不要な状態は設定で簡素化なども可能なこと	必須			
レファレンス情報	管理	09008	E-レファレンスサービスとしてｗｅｂ経由でレファレンスを受付できること　受付確認メールの送信が可能なこと　受付状態を管理できること	必須			
レファレンス情報	管理	09009	登録されたレファレンス情報をメール連携により質問者に返信できること				
レファレンス情報	検索	09010	登録されたレファレンス情報を検索することができること	必須			
レファレンス情報	検索	09011	事例検索で一般利用者が使用する画面と図書館職員が使用する画面が別になっていること（セキュリティの観点から同じプログラムでログインIDの権限によって画面が違うという造りになっていないこと）	必須			
レファレンス情報	検索	09012	レファレンスデータは以下の項目を検索キーとして検索できること 質問、回答、タイトル、回答プロセス、紹介先、担当者名、備考、参考資料名、レファレンス状態区分、解決区分				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
レファレンス情報	検索	09013	絞り込み項目として以下の項目が指定できること 内容種別、NDC分類、調査種別、受付窓口、受付日、回答日、更新日				
レファレンス情報	検索	09014	キーワードでの検索を行う際は登録済みのキーワードを参照することができること				
レファレンス情報	検索	09015	掛け合わせの検索としてAND、OR条件が指定できること　また一致条件は中間一致を基本とすること　新字・旧字、かなの扱い等についても書誌検索に準じること				
レファレンス情報	検索	09016	検索結果をレファレンス一覧として参照することができること				
レファレンス情報	検索	09017	検索結果をレファレンス一覧を帳票データとして出力可能であること				
レファレンス情報	検索	09018	検索結果が指定件数以内の場合は自動で結果一覧画面への遷移が行われること				
レファレンス情報	検索	09019	検索結果が１件の場合は自動で詳細画面への遷移が行われること				
レファレンス情報	検索	09020	結果一覧画面に遷移する際に一覧表示する件数を指定することができること				
レファレンス情報	検索	09021	レファレンス一覧には、質問・回答・状態・受付日・受付窓口・回答日が表示されること				
レファレンス情報	検索	09022	検索結果一覧では質問日、受付日でソートができるほか、協議の上ソート可能項目の設定変更が可能であること				
レファレンス情報	検索	09023	詳細画面では質問に関する、全ての回答、参考文献、URLの一覧が確認でき、同時に質問者の情報が表示されること				
レファレンス情報	検索	09024	レファレンス詳細を選択することで回答内容の詳細を確認できること　また修正を行うことができること				
レファレンス情報	検索	09025	参考文献一覧では資料番号またはタイトルコード、請求記号、タイトル、掲載箇所、書誌参照リンクを表示すること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
レファレンス情報	検索	09026	URLの登録ができること　タイトル、URLのほか注記情報の記入が可能なこと				
レファレンス情報	検索	09027	検索値をクリアするためのボタンがあること				
レファレンス情報	入力	09028	利用者からの質問を登録することができること　またその際に受付状態の管理ができるようになっていること				
レファレンス情報	入力	09029	質問を登録する際の項目については、必須項目、コード参照、カレンダー参照といった設定がされること				
レファレンス情報	入力	09030	質問登録の際に事例検索を経由して、質問データの特定ができること				
レファレンス情報	入力	09031	詳細画面から質問に対する回答を登録することができること				
レファレンス情報	入力	09032	回答データとして回答、回答プロセス、分類、キーワード等が設定できること　また回答時に状態の変更が出来、承認待ちとするか質問者への回答とするかを選択することができること				
レファレンス情報	入力	09033	参考文献の登録の際は資料番号をバーコードリーダーで読み込み登録、もしくは資料検索からの登録ができること　資料番号がない場合は直接タイトル等の入力も可能なこと				
レファレンス情報	入力	09034	参考文献の登録内容として該当の資料コード、タイトル、注記情報が登録可能であること				
レファレンス情報	修正	09035	登録済みレファレンス情報の修正を行うことができること	必須			
レファレンス情報	修正	09036	回答、参考文献、参考ＵＲＬ、事例の一覧から該当するものを選択することでそれらの内容の修正ができること				
レファレンス情報	削除	09037	登録済みレファレンス情報の削除を行うことができること				
レファレンス情報	削除	09038	質問を削除する場合は、回答についても同時に削除すること　その場合、削除について確認を促すメッセージを表示し、職員の判断を待つしくみにすること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
レファレンス情報	削除	09039	レファレンスキーワードは表記とヨミのペアで管理できること　また表記とヨミのメンテンナンスを行うことができること				
レファレンス情報	統計	09040	入力されたレファレンス事例の統計処理ができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
書誌情報	基本要件	10001	書誌情報の新規作成、流用登録、修正を行うことができること	必須			
書誌情報	基本要件	10002	書誌情報は対象の種類（図書・雑誌・視聴覚・電子書籍等（以降書誌種別という）を指定して作成・管理できること	必須			
書誌情報	基本要件	10003	書誌種別毎に、それぞれの管理を行うために必要なタグが設定できること	必須			
書誌情報	基本要件	10004	TRC-MARC(Tタイプ)のすべてのタグに対応すること	必須			
書誌情報	基本要件	10005	TRC社の新刊全件MARC、修正MARC、内容細目、典拠ファイル、遡及・抽出MARC（図書・視聴覚・電子）、学習件名の取り込みが可能であること	必須			
書誌情報	基本要件	10006	TRC社のTOOLiを用いた各種MARC、内容細目、典拠ファイルの取込に対応していること	必須			
書誌情報	基本要件	10007	国立国会図書館の書誌データ＝JAPAN/MARCの取込が可能なこと。形式はMARC21、MARCタグ、DC-NDLのいずれかに対応していること	必須			
書誌情報	基本要件	10008	NS-MARC、OPL-MARCの登録が可能なこと　その他MARCの登録に対して対応が可能なこと				
書誌情報	基本要件	10009	TRC-MARC由来の書誌と、自館作成書誌、JAPAN/MARC由来書誌、その他取込可能なMARC由来の書誌データが共存できること。共存の方法は統合・並存の両方を可とする	必須			
書誌情報	基本要件	10010	国立国会図書館総合目録（Japanサーチ)にOAI-PMH方式でデータ提供が可能なこと	必須			
書誌情報	基本要件	10011	書誌詳細画面から書誌編集画面に展開できること　その逆も可能なこと	必須			
書誌情報	書誌編集	10012	書誌の作成・修正画面では、登録可能なすべてのタグを扱うことが可能であること	必須			
書誌情報	書誌編集	10013	タグ番号と日本語名の両方が表示される画面を備えていること	必須			
書誌情報	書誌編集	10014	全タグ項目が一覧表示でき、印刷およびテキストファイル等にダウンロードして確認することができること				
書誌情報	書誌編集	10015	書誌のユニークID等、修正不可能な項目は入力不可とするか、修正しようとすると警告ないし更新登録にブロックがかかること	必須			
書誌情報	書誌編集	10016	各タグ項目の入力規則に従って、入力チェックが行われること				
書誌情報	書誌編集	10017	書誌の作成・編集画面は、全タグを一覧できる画面に加え、タグ番号に不慣れな職員向けに一般的によく使用するタグ名と入力欄が対で表示される画面（以後「固定項目画面」と呼ぶ）も備えていること。				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
書誌情報	書誌編集	10018	書誌の作成・編集画面の種類が複数ある場合、作成・編集中の書誌情報を保持しつつ画面間を移動（表示形式を変更）できること				
書誌情報	書誌編集	10019	書誌の追加・更新・削除を行った場合、検索キー・書誌・インデックス等の関連するデータ反映は即時に行われること				
書誌情報	書誌編集	10020	ISBN,MARCNo,雑誌コード,ISSNなどの検索項目より書誌情報を呼び出すことが可能であること　また、どの検索項目を初期表示するかは導入時に設定できること				
書誌情報	書誌編集	10021	書誌情報をよびだした際、該当資料が複数存在した場合は、重複資料を選択する画面が表示され、選択後にその資料で処理を継続することができること				
書誌情報	書誌編集	10022	流用登録は書誌種別をまたいで流用作成できること　（雑誌を流用して図書の書誌を作成など）				
書誌情報	書誌編集	10023	書誌情報の削除実施時、その書誌にリンクされる資料情報・発注情報・予約情報・借受依頼情報・レファレンス情報等が存在場合はエラーメッセージを表示し、ガードをかけること				
書誌情報	書誌編集	10024	書誌を削除する際は、削除ログを残しておき、外部機関へのデータ提供時に使用できること				
書誌情報	書誌編集	10025	必須項目が入力されていない場合はその旨をメッセージにて表示すること				
書誌情報	書誌編集	10026	表記とカナを持つ項目は、表記を入力すると自動的にカナをふることができること				
書誌情報	書誌編集	10027	表記とカナ等、対にタグが存在する場合、書誌登録・更新時に不足するタグがある場合、警告メッセージを表示する機能があること（一時保存時（後述）を除く）				
書誌情報	書誌編集	10028	書誌登録・更新の際、タイトルコード(書誌ID)・ISBN・ISSN等のユニークな項目に対して二重登録のチェックを行えること				
書誌情報	書誌編集	10029	二重登録チェックの対象になった場合は書誌編集入力画面に戻り、続けて編集処理ができること。ISBN等、図書館職員が重複可能と判断した場合は強行登録も行えること（システム上重複登録できないものを除く）				
書誌情報	書誌編集	10030	典拠管理対象項目入力の際に登録済み典拠の検索を行い、データ引用を行うことができること	必須			
書誌情報	書誌編集	10031	書誌を登録(更新)する前に、確認メッセージを表示し、書誌を登録（更新）するか、職員に判断を求めることができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
書誌情報	書誌編集	10032	書誌を登録した際に検索キーワードは清音化され、(わ・は)、(ヴァ・バ)等区別なく検索出来る検索インデックスが作成されること				
書誌情報	内容細目	10033	書誌情報には内容細目を登録できること。	必須			
書誌情報	内容細目	10034	１つの書誌情報が持てる内容細目の限度は200件を超えていること。１内容細目書名には内容細目著者10件以上、内容細目注記１件以上の登録ができること				
書誌情報	内容細目	10035	書誌の内容細目は一覧表示できること。一覧から内容細目を選択することで、内容細目に関連するタグ情報（内容書名・著者名等）を一覧表示、それぞれの修正が可能であること				
書誌情報	逐次刊行物管理	10039	逐次刊行物の書誌は出版物利単位の情報（以後「巻号情報」と呼ぶ）とシリーズ共通情報（以後「基本情報」と呼ぶ）を階層構造として登録・管理できること	必須			
書誌情報	逐次刊行物基本情報	10040	基本情報には、誌名・出版者・創刊年・刊行頻度・分類・副誌名・異誌名区分・開始巻号・最新巻号・終了巻号・注記・巻号注記などの情報が登録できること				
書誌情報	逐次刊行物基本情報	10041	基本情報には、吸収・派生などの変遷情報を5件以上登録可能なこと				
書誌情報	逐次刊行物基本情報	10042	吸収・派生などの変遷情報として書誌情報をリンクし、リンク先書誌情報へ画面遷移できること				
書誌情報	逐次刊行物管理	10043	逐次刊行物として登録した書誌は、基本情報を検索・選択することで参照・修正・削除ができること	必須			
書誌情報	逐次刊行物管理	10044	基本情報を削除する場合、巻号情報の有無をチェックして、存在する場合はエラーを表示して削除できないこと　巻号情報を削除する場合、資料情報の有無をチェックして、存在する場合はエラーを表示して削除できないこと	必須			
書誌情報	逐次刊行物基本情報	10045	基本情報には、所蔵予定情報として、所蔵館毎の配架場所区分・請求記号・帯出区分・購入事由・受入先・資料種別・受入区分・予算区分・値引率等の登録ができること				
書誌情報	逐次刊行物管理	10046	逐次刊行物の基本情報編集画面から巻号情報の作成・修正画面が表示できること	必須			
書誌情報	逐次刊行物管理	10047	巻号情報画面から基本情報画面へ遷移できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
書誌情報	逐次刊行物管理	10048	巻号情報画面から展開した資料受入画面では、シリーズの刊行頻度から貸出開始日を自動計算して表示することができること				
書誌情報	逐次刊行物巻号情報	10049	巻号情報には、巻号名・特集記事・発行日・巻号・通番・件名・価格情報・製本区分・JANコードなどが登録できること				
書誌情報	逐次刊行物巻号情報	10050	巻号情報画面の初回起動時は、新規の巻号の入力を容易とするため、最新巻号の巻号内容を入力項目に反映済みの状態で、新規モードの状態で表示されていること				
書誌情報	逐次刊行物巻号情報	10051	巻号情報登録時に、既に同一発行日・巻号・通番が存在する場合は、二重登録を警告メッセージを表示できること。この場合、強行して登録を実行することができること				
書誌情報	書誌統合	10052	2つ以上の書誌情報にリンクされている資料・発注・予約・貸出・レファレンス等の情報を１つの書誌リンクされた状態に統合することができること				
書誌情報	書誌統合	10053	統合元・統合先書誌情報は、書誌検索機能を用いて検索・選択指定できること				
書誌情報	資料組換	10054	資料番号の付け違いや書誌割れに対応するため、任意の資料情報を別の書誌へ付け替えること(組換)ができること	必須			
書誌情報	資料組換	10055	組換は、タイトルコード・資料番号・ISBN・MARC番号等を入力して組換先・組換元の書誌情報を指定できる機能があること	必須			
書誌情報	資料組換	10056	組換処理を行う画面から、組換元、組換先の書誌詳細、資料一覧（資料番号、所蔵館、場所区分、資料種別、請求記号、帯出区分、状態区分、最新処理日時、最新処理窓口、利用者番号、返却期日）を表示できること。また注文一覧、予約一覧の確認を行えること	必須			
書誌情報	資料組換	10057	対象の書誌情報を2つ以上選択し、書誌にリンクされている資料情報の一部または全てを組換できること	必須			
書誌情報	資料組換	10058	資料情報の組換は除籍済資料に対しても可能であること				
書誌情報	資料組換	10059	対象の書誌情報を2つ選択し、書誌にリンクされている予約情報の一部または全てを組換できること				
書誌情報	資料組換	10060	資料情報の組換時、対象となった資料情報の請求記号(所在記号)、資料種別等を変更できること				
書誌情報	資料組換	10062	受入未完了資料（注文済・未納入）を組換する場合、納入業者に送付した注文情報と齟齬が出る可能性があることを警告し、以降の処理をブロックできること。				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
書誌情報	資料組換	10063	組換処理後、資料情報、注文情報、予約情報が一件も無くなった場合、確認メッセージを表示し、書誌情報を削除することができること				
書誌情報	典拠管理	10064	TRC社の典拠ファイル(Tタイプ)に相当する典拠情報を管理（検索・参照）することができること	必須			
書誌情報	典拠管理	10065	自館作成の典拠情報（辞書情報）の新規登録・流用登録・修正・削除をすることができること。流用は商業マークの典拠からでもできること	必須			
書誌情報	典拠管理	10066	類似する典拠の登録情報を画面で見比べて、統合または参照・相互参照の登録・登録解除を行うことが出来ること				
書誌情報	典拠管理	10067	典拠修正時、業務システム負荷を考慮し、レスポンスに配慮すること	必須			
書誌情報	典拠管理	10068	書誌および参照・相互参照でリンクされている書誌がある典拠は削除できないこと。	必須			
書誌情報	典拠管理	10069	選択された典拠の相関典拠、統一形典拠、参照形典拠をそれぞれ一覧で展開表示できること	必須			
書誌情報	典拠管理	10070	典拠一覧で複数典拠を選択し典拠詳細画面に遷移した場合は、複数選択した典拠の情報を、典拠一覧に戻ることなく順次または一括で表示することができること				
書誌情報	典拠管理	10071	典拠の相関解除、参照解除を行うことができること	必須			
書誌情報	典拠管理	10072	相互参照典拠は、参照解除した後に削除できること	必須			
書誌情報	典拠管理	10073	参照系が存在する統一系の典拠は削除できないこと	必須			
書誌情報	郷土件名	10074	本市郷土資料で採録付与する独自の件名（以後郷土件名と呼ぶ）を典拠情報として管理できること	必須			
書誌情報	郷土件名	10075	郷土件名はTRC-MARC、JAPAN/MARC等から取込んだ書誌情報にも追加できること	必須			
書誌情報	郷土件名	10076	TRC-MARC、JAPAN/MARC等の更新情報を取込んでも、書誌情報に追加した郷土件名は消えないこと	必須			
書誌情報	郷土件名	10077	郷土件名は書誌の検索キーとして反映されること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料情報	基本要件	11001	資料情報（所蔵情報）は、所蔵複本単体を管理するため、書誌情報とｎ：１でリンクする形式が取れること	必須			
資料情報	基本要件	11002	資料情報のメンテナンスは、蔵書検索から個別に資料を選択して行う方法と、更新条件を指定して資料番号を連続で読み取る方法の、両方可能であること	必須			
資料情報	一括変更	11003	資料詳細画面に準じた項目を任意で選択して連続で資料情報変更処理ができること	必須			
資料情報	一括変更	11004	不明・除籍・所蔵変更・場所区分変更など、頻繁に行う状態変更処理のための処理画面を設けること				
資料情報	一括変更	11005	除籍処理に際しては、除籍実施日と除籍の事由を設定できること	必須			
資料情報	一括変更	11006	一括変更のデータ反映は業務システム負荷を考慮した上で、即時に反映できること				
資料情報	一括変更	11007	資料を読み込んだ際に該当資料が登録されていない場合は該当なしとしてエラー表示を行うこと				
資料情報	一括変更	11008	所蔵情報を修正する場合、貸出中であり在庫・廃棄済など、矛盾した状態にならないよう制御されること				
資料情報	一括変更	11009	最後の有効資料を除籍／除籍伺状態にする等、除籍することで有効資料が失われる場合、確認を促すメッセージを表示すること	必須			
資料情報	一括変更	11010	変更前と変更後の状態を表示することができること				
資料情報	資料詳細	11011	資料詳細画面には、所蔵館・請求記号・資料種別・帯出区分・貸出開始日・登録日・場所区分・媒体種別・製本区分・割当開始日・保存区分・付録区分・受入日・受入先・定価・受入価格・価格区分・購入事由・予算年度・版年・文庫区分・付録親資料番号・受入区分・値引率・予算区分・予算執行日・状態区分・弁償期限・資料コメントなどの状態を確認できるとともに、それらの修正が行なえること。また、必要に応じてプルダウン入力や	必須			
資料情報	資料詳細	11012	貸出中資料の状態区分を直接在庫、除籍状態にできない制限ができること	必須			
資料情報	資料詳細	11013	所在記号（請求記号）は別置記号、分類番号、図書記号、巻次（NDC版として使用）に分けて入力ができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料情報	資料詳細	11014	所在記号は手動で登録する以外に、書誌分類や資料種別による整理基準に従って自動で振り出す補助機能を有していること				
資料情報	資料詳細	11015	資料情報をOPAC(館内およびweb)に表示する／しないの条件設定が可能であること	必須			
資料情報	セット処理	11016	複数の資料情報を一つの資料番号で扱うためのセット化ができること。セット化された資料情報はそれぞれ自身の書誌情報を維持しつつ、一つの親資料番号を持ち、親資料番号は一つの書誌にリンクされる状態であること。	必須			
資料情報	セット処理	11017	セット処理は物理的セット（合本・製本）と論理的セット（パック化）との両方が行えること。物理セットは主に雑誌の合冊製本の場合に使用する。子資料番号とそれにリンクする書誌情報は親書誌・資料情報を検索するために使用するが蔵書数・貸出数としては計上しない。論理的セットは団体貸出のため、一定量の資料を仮想の書誌・資料情報の元にまとめ、親資料の貸出／返却をもってセット化されている子資料全てが同じ状態を引き継ぎ蔵書数・貸出数を計上する				
資料情報	セット処理	11018	セット子資料の貸出冊数カウント方法は、導入時に設定できること　（50冊のセットを貸出した場合、貸出冊数を50とするか、1とするかの設定）	必須			
資料情報	セット処理	11019	セット化資料の貸出／返却の場合も、レスポンスの低下を招かないこと	必須			
資料情報	セット処理	11020	セット子資料を貸出／返却対象資料として読み込んだ場合、メッセージを表示し処理キャンセルできること				
資料情報	セット処理	11021	セット親資料の書誌詳細画面から、セット化されている子資料の資料一覧を確認できること				
資料情報	セット処理	11022	セット化されている子資料の資料一覧から、任意の子資料（または全子資料）を選択してセット化の解除ができること。				
資料情報	セット処理	11023	セット子資料を持つセット親資料に、セット子資料を追加登録できること				
資料情報	セット処理	11024	セット化済資料の蔵書点検は、親資料の存在確認をもって子資料すべてが揃っているとみなせること				
資料情報	セット処理	11025	物理的セット化資料は親資料を除籍することで全ての子資料が除籍状態となること（論理的セット化資料は除籍処理を行わないためこの機能は必要ない）				
資料情報	セット処理	11026	全てのセット子資料が解除されたセット親資料は、セット化されていない通常の資料と同じ扱いに戻ること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現 （提案書に記載の場合はその箇所）
資料情報	付録登録	11027	資料情報に付録親資料番号を付与することで付録資料番号を付与することで、親１に対しｎの付録関連付け登録ができること。また、付録関係の解除もできること	必須			
資料情報	一括除籍	11028	不明回数を条件に一括で除籍処理ができること				
資料情報	一括除籍	11029	長期延滞資料を一括して除籍することができること				
資料情報	回送処理	11030	資料情報の移動管理として回送処理が可能であること。その際、回送する館を指定して資料番号を連続して読み取ることにより簡易に処理可能であること	必須			
資料情報	回送処理	11031	回送のため読み取った資料に予約がある場合は職員にわかるよう通知し、割当・回送処理を行うこと。	必須			
資料情報	回送処理	11032	回送一覧から選択した資料の詳細画面へワンタッチで展開できること	必須			
資料情報	回送処理	11033	所蔵の移動管理として回送受付処理が可能であること　その際、資料番号を読み取ることにより簡易に処理可能であること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
注文情報	基本要件	12001	購入資料選定（選書）の結果を注文情報として登録・修正・削除などの管理することができること	必須			
注文情報	基本要件	12002	注文情報は書誌情報とリンクし、注文番号、注文日、注文館（受入予定館）、注文区分（注文方法）、注文状態区分、注文事由（選定理由）、予算区分、注文価格、定価、注文先、注文コメント（メモ）、に加え、受入後資料情報の属性となる資料種別、媒体種類、配架場所区分、帯出区分、所在記号（請求記号）、文庫区分、新刊棚区分・新刊棚期限を設定できること	必須			
注文情報	基本要件	12003	注文状態区分は選書中・注文確定・注文取消・注文済などの状態管理の区分で、後述する注文帳票や一括設定の対象として選択・指定する区分として機能すること	必須			
注文情報	基本要件	12004	注文区分、注文状態区分、注文事由等の項目に対して、システム構築時に設定できること				
注文情報	基本要件	12005	注文先は、システム運用開始後に図書館で追加登録できること				
注文情報	基本要件	12006	注文番号は注文情報１レコードに対し１件付与され、注文情報を認識するユニークキーとして機能すること。注文情報１レコードが受入後の資料１点と対応することを前提とした運用が可能であること	必須			
注文情報	基本要件	12007	ログインユーザIDによって、注文情報の表示は行うが削除・修正は不可とする制限をかけられること				
注文情報	基本要件	12008	書誌一覧画面で書誌を選択し、書誌詳細画面・注文一覧画面へ遷移できること	必須			
注文情報	基本要件	12009	注文一覧では注文日、注文番号、注文館、場所区分、資料種別、請求記号、帯出区分、状態区分、注文先、注文事由を表示できること				
注文情報	基本要件	12010	注文一覧で注文情報は、図書・視聴覚等書誌種別に関わらず項目入力位置が統一された同様の画面が表示されること				
注文情報	基本要件	12011	書誌一覧画面・書誌詳細画面・注文一覧画面から注文入力画面へ遷移できること	必須			
注文情報	注文入力	12012	注文入力画面に表示する書誌情報の抜粋項目は図書館が任意に指定できること	必須			
注文情報	注文入力	12013	注文入力画面には、選択中の書誌の所蔵状況（所蔵数）・注文状況（注文数）が一覧で確認できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
注文情報	注文入力	12014	注文入力画面では書誌種別・資料種別ごとに入力既定値保存が可能なこと。				
注文情報	注文入力	12015	注文入力画面では、館毎に注文数を設定し、各館分の注文情報を一括作成することができること	必須			
注文情報	注文入力	12016	注文入力画面で複数の注文情報を一括作成した場合は、生成された注文番号の範囲を確認できること				
注文情報	注文入力	12017	注文入力情報削除時ににポップアップ画面を表示して実行確認すること。削除直後は注文数を0クリアし、その他の項目の入力情報を残して再注文ができること				
注文情報	注文入力	12018	注文入力画面で、書誌詳細画面に展開できること　逆も可能なこと　画面展開をしたことで、入力した内容に齟齬が出ないこと				
注文情報	注文入力	12019	注文入力画面から展開した画面で予約を行なった後、元の注文情報入力画面（入力規定値が展開された状態）に戻ることができること				
注文情報	注文入力	12020	注文入力画面中の注文先顧客コードの既定値が保存されること				
注文情報	注文入力	12021	注文先業者の注文用ＨＰに接続して業務システムの注文や受入状況を見ながら注文入力ができる機能があること				
注文情報	連続注文	12022	注文館、館ごとの注文数、ほかの項目を設定して、連続してMARC番号、ISBN、タイトルコード、資料番号を入力することで連続して注文情報を作成できること				
注文情報	連続注文	12023	番号入力画面では注文番号、資料種別、書誌情報、注文館、場所区分、請求記号、状態区分、所蔵数、注文数、備考を表示できること				
注文情報	連続注文	12024	連続注文処理で、1回前の注文で指定したマーク番号・ISBNで再度注文を行おうとした場合、注意を促すメッセージを表示できること				
注文情報	連続注文	12025	注文入力画面内で、ISBNやタイトルコードで検索して（バーコードリーダーでの入力が可能なこと）書誌を確定し、注文を行なうことができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
注文情報	注文一覧帳票	12026	注文館、注文日（範囲指定）、注文先、注文状態を条件にして注文のデータが抽出できること　また、その一覧を表示することができること	必須			
注文情報	注文一覧帳票	12027	帳票には注文館、資料区分、注文先、注文日、注文番号（バーコード）、書誌情報、請求記号、場所区分、注文価格、定価、注文コメント、ISBN、受入数、注文数、予約鵜数、注文事由が表示されること				
注文情報	注文一覧帳票	12028	抽出した一覧の合計金額を表示することができること				
注文情報	注文一覧帳票	12029	抽出した結果を使用して納入業者へ送付する注文データを作成することができること	必須			
注文情報	注文一覧帳票	12030	任意のタイミングで、抽出された注文データの状態を一括で「注文済み」に変更できること	必須			
注文情報	注文一覧帳票	12031	注文データの作成時には、ファイルの出力先を自由に選択できること				
注文情報	注文一覧帳票	12032	抽出した結果を使用して短冊が出力できること				
注文情報	一括注文	12033	選書した一覧からの一括注文が可能であること				
注文情報	一括注文	12034	読み込まれた一覧から該当の資料を選択し、注文の対象から除外することができること				
注文情報	一括注文	12035	読み込まれた一覧の全資料を一括して注文の対象として選択できること				
注文情報	一括注文	12036	読み込まれた一覧から該当の資料を選択し、一覧から外すことができること				
注文情報	一括注文	12037	注文の対象として選択されている資料について、その選択件数と定価での合計金額を表示することができること				
注文情報	一括注文	12038	読み込んだ一覧で該当の資料を選択後、その資料の注文中一覧、所蔵一覧、予約者一覧を確認できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
注文情報	一括処理	12039	指定した注文内容により読み込んだ一覧の全ての注文を実施することができること				
注文情報	一括処理	12040	注文状態と注文日等の条件で検索した後、注文情報をを一括選択して削除することができること	必須			
注文情報	一括処理	12041	条件を設定し、注文番号（バーコード）を入力することで連続して注文情報を修正できること　修正できる項目は注文入力画面の項目に準じること				
注文情報	受入	12042	注文受入では、注文番号を参照・引用して書誌情報と資料情報をリンクさせることができること	必須			
注文情報	受入	12043	現物受入では、検索した書誌情報と資料情報をリンクさせることができること	必須			
注文情報	受入	12044	現物受入を行う際、書誌に注文情報が存在したら、その注文情報に対する注文受入、現物受入継続、処理中止が選択できるメッセージが表示されること				
注文情報	受入	12045	受入条件として以下の設定が可能なこと 所蔵館、資料種別、受入日、受け入れ先、購入事由、予算年度、保存区分、新刊棚区分、新刊棚期限、貸出開始日、地域資料区分、請求記号、資料コメント、場所区分、媒体種類、帯出区分、受け入れ区分、予算区分、予算執行日、文庫区分、割当開始日				
注文情報	受入	12047	現物受入時、請求記号は手動で登録する以外に、図書館の整理基準に従って書誌データの分類・ヨミガナ・標目指示項目等から自動で振り出す機能を有していること	必須			
注文情報	受入	12048	現物受入画面で規定値保存が可能なこと。資料ローカル情報の設定値を保存し、次に現物受入する際には既定値が初期値として表示されること。				
注文情報	受入	12049	納本業者より提供された資料情報（以後「ローカルデータファイル」と呼ぶ）を取込んで書誌情報と資料情報をリンクさせることができること。ローカルデータファイルは本市が指定するテキストファイルの形式に対応できること。ローカルデータファイルを使用した受入処理の場合、注文番号・ＩＳBN等をキーに注文情報とマッチングさせ、ローカルデータファイル内に存在しない資料情報項目を補完して登録することができること	必須			
注文情報	受入	12050	TRC社の書誌情報付資料情報（以後「抽出MARCファイル」と呼ぶ）を取込んで書誌情報と同時に資料情報をリンクさせた形で登録することができること。抽出MARCファイル内に存在しない資料情報項目は書誌種別・資料種別毎に一定のルールで補完して登録することができること	必須			
注文情報	受入	12051	受入処理で資料情報を登録後、該当資料資料状態区分、および該当注文情報の状態区分を任意の設定（未納品・整理回送中・受入済等）に変更できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
注文情報	受入	12052	資料受入時、対応する注文情報を同時削除することができること				
注文情報	受入	12053	受入館、受入日（範囲指定）、受入区分、資料番号（範囲指定）を条件にして受入の一覧を確認できること	必須			
注文情報	受入	12054	ICタグ貼付資料の受入では、受入資料の情報をシステムに登録すると共に、ICタグ自体のAFI（持ち出し可否制御）にも同時に書き込みを行なうこと				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
緊急対応・オフライン処理	基本要件	13001	サーバやネットワーク機器の障害によりオンライン処理ができなくなった場合に備え、オフライン端末（クライアントパソコンまたはハンディ端末）に処理内容を記録し、復旧後にデータを転送して一括更新できるオフライン処理機能を有すること	必須			
緊急対応・オフライン処理	基本要件	13002	オフライン処理機能として、貸出、返却処理を行えること	必須			
緊急対応・オフライン処理	基本要件	13003	オフライン処理機能として、蔵書点検の資料番号エントリー処理が行えること	必須			
緊急対応・オフライン処理	基本要件	13004	ハンディ端末ではオフライン処理機能として、資料情報変更（所蔵館・配架場所・配架棚番・帯出区分）対象読込処理が行えること	必須			
緊急対応・オフライン処理	クライアントパソコン	13005	オフライン処理時でも利用者番号や資料番号の桁数・チェックディジットのチェックを実施できること				
緊急対応・オフライン処理	クライアントパソコン	13006	クライアントパソコンで処理した貸出、返却、蔵書点検等のデータを簡便な方法でサーバへ転送し、他処理との前後関係など矛盾なく更新処理ができること	必須			
緊急対応・オフライン処理	クライアントパソコン	13007	クライアントパソコンの処理館、処理窓口、貸出期限を設定できる機能があること	必須			
緊急対応・オフライン処理	クライアントパソコン	13008	処理した利用者数、貸出・返却の件数を確認する機能を有すること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13009	ハンディ端末は利用者カードや資料のバーコード読み取り機能を有すること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13010	ハンディ端末は番号打鍵によって資料や貸出カードの番号を入力できること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13011	ハンディ端末の処理館、処理窓口は適宜設定できること	必須			
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13012	ハンディ端末で処理したデータを簡便な方法でサーバへ転送し、他処理との前後関係など矛盾なく更新処理ができること	必須			
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13013	ハンディ端末入力時の館・場所の設定にかかわらず、更新の際、必要に応じて設定を変更して更新できること	必須			
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13014	予め抽出した予約データ・注意図書データ・注意利用者データをハンディ端末に転送する機能を有すること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13015	利用者番号、資料番号読み取り時、格納している注意利用者や予約資料、注意図書に該当した場合は、音とメッセージ表示で通知できること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13016	処理履歴（処理毎の読込履歴）を確認できること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13017	格納されたデータ件数を確認する機能とクリアする機能を有していること	必須			
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13018	貸出処理を起動した時点で、設定ミスを防ぐために、処理窓口と貸出期限が表示され、設定変更ができること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13019	利用者番号･資料番号を入力することで、貸出処理ができること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13020	予約データが転送されている場合、返却処理した資料に予約があった場合、割当処理対象であることを表示できること				
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13021	サーバでの更新処理履歴をサーバ上に残せること	必須			
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13022	サーバへのデータ転送・更新時、データレコードのレイアウトチェックを行い、エラーを検出した場合はそのレコードをスキップした旨の記録をサーバ上に残せること	必須			
緊急対応・オフライン処理	ハンディ端末処理	13023	ハンディ端末データの流し込み、更新時に他業務の遅延やロックが発生しない設計になっていること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
移動図書館	基本要件	14001	移動図書館用として、モバイル通信回線に対応したモバイル端末を使用し、オンライン処理を行うことができること	必須			
移動図書館	基本要件	14002	移動図書館では外部交流電源を使用できない環境でも運用可能であること	必須			
移動図書館	基本要件	14003	移動図書館用モバイル通信回線はLTE 4G以上の高速回線を使用し、サーバとのリアルタイム通信が可能であること	必須			
移動図書館	基本要件	14004	移動図書館用モバイル通信回線はIP-Sec VPNで保護された回線が使用可能であること。	必須			
移動図書館	基本要件	14005	移動図書館用モバイル通信回線のVPN接続はパスワード投入方式を選択可能であること。				
移動図書館	基本要件	14006	電波の状態によるものでない限り、業務に支障のないレスポンスを確保すること				
移動図書館	基本要件	14007	オンライン処理が何らかの原因で不可能となった場合、緊急対応としてオフラインでも貸出処理が可能なこと	必須			
移動図書館	業務処理	14008	移動図書館に積載する持ち出し端末では、貸出、返却、予約割当、資料検索等、基本的な業務は館内設置の端末と同等の処理が行えること	必須			
移動図書館	業務処理	14009	移動図書館に積載する持ち出し端末でも館内端末同様に、貸出・予約資料返却・返却資料注記（不明資料や除籍資料など）・利用者初期パスワード等のレシートが出力可能であること	必須			
移動図書館	帳票	14012	移動図書館の統計帳票は、ステーション別及び移動図書館全体を選択して集計できること ①貸出人数、貸出冊数、予約処理件数 ②有効登録者数 ③督促資料一覧、督促はがき	必須			
移動図書館	帳票	14013	ステーション別利用者情報（利用者名、電話番号、利用者コード　等）を帳票データとして出力可能なこと				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
蔵書点検	基本要件	15001	資料情報の資料状態区分（在庫・不明・除籍等）と実際の配架資料の状況を比較点検する蔵書点検の機能を有していること	必須			
蔵書点検	基本要件	15002	蔵書点検は開館中に出納・貸出・返却処理を行いつつ実施することも可能であること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15003	蔵書点検実施前に、点検対象の資料を館や書架で区別して指定・設定できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15004	蔵書点検実施範囲は、所蔵館・資料種別（図書一般／雑誌児童／視聴覚郷土 等）・配架場所（開架一般／書庫児童／各種個人文庫等）・所在記号(請求記号)について、それぞれ複数選択して指定できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15005	蔵書点検実施範囲で指定する所在記号は、別置記号や分類番号（類目表のレベル）、図書記号、巻冊（三段目）の組み合わせで、それぞれ範囲指定ができること（例：別置記号Lかつ分類番号40～48）	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15006	蔵書点検実施範囲で指定する所在記号は「無記入」(何も入っていないもの)を指定できること				
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15007	蔵書点検実施範囲として指定した範囲の一部分を解除することができること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15008	蔵書点検実施範囲は複数同時指定（論理和）できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15009	蔵書点検実施範囲として指定された資料のうち点検対象外とする資料の状態区分（貸出中・予約割当中・除籍伺中等）をシステム導入時に指定できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15010	蔵書点検対象範囲として指定された資料は、館内OPAC・webOPACで「点検中」と表示することができること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15011	設定した蔵書点検指定範囲の設定条件を保存し、流用利用できること				
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15012	協力貸出資料を点検対象外とできること				
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15013	電子書籍は点検対象外とできること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15014	付録資料を点検対象とできること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15015	製本済の子資料を点検対象外とできること	必須			
蔵書点検	蔵書点検範囲設定	15016	指定範囲ごとの点検が必要な所蔵資料の件数を随時確認できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
蔵書点検	蔵書点検エントリ	15017	蔵書点検の資料番号エントリーはハンディ端末で行えること	必須			
蔵書点検	蔵書点検エントリ	15018	業務端末で資料番号を入力することで資料番号エントリすることができること				
蔵書点検	蔵書点検エントリ	15019	ICタグ資料管理システム導入時には、ICタグを読取って資料番号エントリを行う機器を用意できること				
蔵書点検	蔵書点検エントリ	15020	予約資料番号等をあらかじめ転送した場合は、資料番号読み取り時に通知できること				
蔵書点検	蔵書点検エントリ	15021	ハンディ端末でエントリした番号をPCに転送後参照できること。				
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15022	ハンディ端末・業務端末でエントリした資料番号をサーバに転送し、蔵書点検の結果所在が確認されたとして資料情報の状態区分を変更するとともに、その資料情報の最終点検処理日をするデータ更新処理を実施できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15023	エントリした資料番号はエントリ窓口（館）を最新処理窓口として更新されること	必須			
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15024	エントリ窓口は更新処理前に変更して処理できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15025	資料情報を更新する際、貸出中を在庫状態にするなど、点検資料の状態に応じて更新後の資料状態を決めるルールをシステム導入時に設定できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15026	蔵書点検データ更新の結果で所在が確認された不明資料は、不明状態を解除するとともに蔵書点検不明回数をゼロクリアできること	必須			
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15027	蔵書点検対象範囲内でエントリの確認できなかった資料情報を蔵書点検不明状態として更新し、蔵書点検不明回数をカウントアップすること	必須			
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15028	データ更新処理時は他業務処理に遅延やロックを発生させないこと				
蔵書点検	蔵書点検データ更新処理	15029	各資料情報の最終点検処理日は業務端末で確認できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検帳票	15030	蔵書点検結果の各帳票はExcelで加工可能な形式およびPDFなど可読性の高いレイアウト形式で出力できること。可読レイアウト形式については資料番号をバーコード印字できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
蔵書点検	蔵書点検帳票	15031	蔵書点検結果の各帳票には資料番号、所蔵館、資料種別、配架場所区分、請求記号に加え、書名・著者名など書誌情報が出力されること	必須			
蔵書点検	蔵書点検帳票	15032	蔵書点検対象範囲の資料情報のうち、資料番号エントリがないものを蔵書点検漏れ一覧として出力できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検帳票	15033	蔵書点検実施館と異なる所蔵館の資料を蔵書点検結果帳票として出力できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検帳票	15034	蔵書点検実施場所と異なる配架場所にある資料を蔵書点検結果帳票として出力できること				
蔵書点検	蔵書点検帳票	15035	エントリされた資料番号に対応する資料情報の状態区分が配架資料として不適切な場合（除籍・貸出中・予約割当中・回送中等）、状態異常の内容を蔵書点検結果帳票に出力できること。状態異常として検知する区分はシステム導入時に設定できること	必須			
蔵書点検	蔵書点検帳票	15036	エントリされた資料番号に対応する資料情報が存在しない場合、未登録資料リストとして出力できること。未登録資料は書名などを表示することができないため、直前または直後にエントリした資料番号の書誌情報・資料情報を出力すること	必須			
蔵書点検	蔵書点検帳票	15037	蔵書点検後に不明となった資料の一覧を蔵書点検結果帳票として出力できること。この帳票には連続して不明になった回数が出力されること	必須			
蔵書点検	蔵書点検帳票	15038	蔵書点検の結果帳票は1週間程度保持され、繰り返し出力が可能なこと	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	基本要件	16001	図書館に来館した利用者が、館内で蔵書を検索・予約し、貸出や予約の状況を確認・延長・取消等するとともに個人登録内容（パスワード・電子メールアドレス・読書記録作成可否等）を変更できる館内端末（館内OPAC）を設置可能であること	必須			
館内OPAC	基本要件	16002	館内OPACはキーボードまたはタッチパネルで操作できること	必須			
館内OPAC	基本要件	16003	キーボード・タッチパネルを利用者が随時切り替えて操作できる館内OPACを設置可能であること				
館内OPAC	基本要件	16004	アクセシビリティ対応として、音声読み上げ、文字拡大等、JIS X 8341-3:2016に配慮していること	必須			
館内OPAC	ログイン	16005	利用者が自分の個人登録内容および貸出・予約状況を確認する場合、貸出カード番号（利用者番号）とログインパスワードでログイン操作を行う方式を採用できること	必須			
館内OPAC	ログイン	16006	ログイン後の初期画面を利用者ポータル画面とするシステム初期設定ができること				
館内OPAC	基本要件	16007	ログイン後、未使用時間が指定時間を越えた場合にタイムアウトとして自動でセッションを切りログアウト状態になること　タイムアウト時間は任意に設定することができること	必須			
館内OPAC	ログイン	16008	パスワードは現行システムのものを引き継ぐこと	必須			
館内OPAC	ログイン	16009	パスワードは暗号化して管理されること	必須			
館内OPAC	ログイン	16010	ログイン後の通信は他端末からその内容を判別されないよう暗号化するなど保護されること	必須			
館内OPAC	ログイン	16011	パスワードを取得するには仮パスワードをカウンター（業務システム）で発行し、利用者自身が仮パスワードからパスワード変更機能によって本パスワードに変更できること	必須			
館内OPAC	ログイン	16012	設定可能な本パスワードの文字数，文字種を制限可能であること	必須			
館内OPAC	ログイン	16013	仮パスワードによる認証ではパスワード変更のみ許可され、状況照会などができないこと	必須			
館内OPAC	ログイン	16014	ログインをしている場合、ログアウトボタンを使用し、ログアウトをすることができること	必須			
館内OPAC	ログイン	16015	ログアウト後は画面をクリアし、次に操作する利用者が前の利用者の入力内容を見ることができない状態にすること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	基本要件	16016	パスワード変更機能は、利用者番号と仮パスワード／旧パスワードによりユーザ認証を行い、本パスワード／新パスワードに変更できること	必須			
館内OPAC	基本要件	16017	館内OPACで変更できる個人登録内容には、パスワード変更・ログイン・利用者ポータル・資料検索・予約・メールアドレス登録の機能が使用可能なこと	必須			
館内OPAC	基本要件	16018	操作に当たって、利用者が参照できるヘルプ機能またはガイダンスページを備えること	必須			
館内OPAC	基本要件	16019	システム初期設定にて、使用する機能の変更（選択）が可能なこと				
館内OPAC	基本要件	16020	タッチパネルで画面スクロールの操作を行う場合、パネル上のドラッグ操作に加え、ボタンタップによるスクロール送り操作が可能なこと				
館内OPAC	基本要件	16021	タッチパネルのソフトウェアキーボードは以下の要件を備えること　① ひらがな、カタカナ、全角英数字、半角英数字の入力が可能であること　②漢字変換が可能であること ③文字入力が必要な箇所にフォーカスがあたった際に、自動的に表示されること　④パスワード入力箇所については、パスワードが利用者以外に漏れないように、入力値そのものは表示せず、アスタリスク等でマスクして表示されること	必須			
館内OPAC	基本要件	16022	一般向け、子ども向け(平仮名)、英語の３種の画面に切り換えが可能であること　端末により初期画面を設定できること	必須			
館内OPAC	基本要件	16023	多言語対応として中国語・ハングル等の画面に切り替えが可能であること				
館内OPAC	基本要件	16024	子ども向け表示が選択された場合、検索結果についてもひらがなを表示できること				
館内OPAC	基本要件	16025	端末の起動・終了は、自動電源管理を行うことができること				
館内OPAC	基本要件	16026	一般利用者の操作によるOPAC画面終了等を防止できること				
館内OPAC	基本要件	16027	OPACの利用状況のログを取得することができること				
館内OPAC	基本要件	16028	業務端末用のコード標目とOPAC用のコード標目を別に管理・表示することができること （例：業務「場所区分」、OPAC：「配架場所」など）	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	基本要件	16029	検索は「かんたん検索」「書名・著者名検索」「複合検索」「分類検索」「ジャンル検索」が可能であること				
館内OPAC	基本要件	16030	検索条件入力時に書誌種別・出版年月（発行年月も可能）・所蔵館を入力し絞込みを行うことができること	必須			
館内OPAC	検索	16031	検索対象館については、端末設置館・全館が選択できること　初期値については全館とすること	必須			
館内OPAC	検索	16032	言語区分による絞込みができること				
館内OPAC	検索	16033	検索結果一覧表示は書名・著者名・出版社・出版年分類の昇順降順が変更できること				
館内OPAC	検索	16034	書誌に対して資料情報・注文情報ともに存在しない場合、検索対象外とする設定が可能であること	必須			
館内OPAC	検索	16035	書誌とリンクする資料情報の状態区分（除籍済・紛失・製本中等）や注文情報の状態区分（選書中・取消等）により、検索対象外とする設定が可能であること	必須			
館内OPAC	検索	16036	付録の子資料、製本済子資料も検索対象とすることができること				
館内OPAC	基本要件	16037	検索結果から予約が可能なこと	必須			
館内OPAC	基本要件	16038	１文字のキーワードが指定されても検索が行えること　この際、レスポンスの低下を招かない措置を行っていること				
館内OPAC	基本要件	16039	濁音、半濁音、拗音、促音、長音については、その有無や大小に関わらず検索することができることまた図書館の指定する文字については正規化処理を行うことができること（を→お、わ→は、え→へ等）	必須			
館内OPAC	基本要件	16040	図書、雑誌、ＡＶ等の資料種別に関係なく横断的に検索することができること　また資料種別は図書館で変更可能であり、その種別の絞込みによる検索も可能であること	必須			
館内OPAC	基本要件	16041	表記のほかに読みでの検索が可能なこと	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	基本要件	16042	検索結果の上限値をシステムとして設定することができること	必須			
館内OPAC	基本要件	16043	著者名の典拠検索ができること				
館内OPAC	かんたん検索	16044	入力窓を一つだけ表示し、全文検索（導入時に設定する複数の検索項目について検索。値の空白区切りによりand検索）が可能であること				
館内OPAC	書名・著者名検索	16045	タイトルと著者検索が可能であること	必須			
館内OPAC	書名・著者名検索	16046	書名を指定した場合であれば本書名・副書名・叢書名・多巻書名などを対象とするなど、検索項目の対象データを導入時に設定できること　（著者名・出版者なども同様） また、本書名・副書名・叢書名・多巻書名など、個別のデータを指定した検索方式も導入時に設定できること　（著者名なら、内容著者・多巻著者などを指定可能なこと）	必須			
館内OPAC	複合検索	16047	検索条件を入力する欄を複数持ち、論理式（AND検索、OR検索、NOT検索）の指定と一致条件（前方一致、中間一致、完全一致、後方一致）の指定をした検索が可能であること　それぞれの入力欄については初期項目を設定でき、入力されている項目のみ検索キーとすること	必須			
館内OPAC	複合検索	16048	複合検索では、表記のみ、ヨミのみを指定しての検索が可能であること				
館内OPAC	複合検索	16049	複合検索では、書名・著者名・出版者・件名・内容注記・全項目から検索を行うことができること　コードの検索としては、分類・ISBN・タイトルコードから検索できること				
館内OPAC	複合検索	16050	所在記号（請求記号）検索として、本市で設定している別置記号、１段目～３段目での検索が可能であること				
館内OPAC	複合検索	16051	複合検索用のすべての検索対象項目については導入時に設定・変更が可能であること				
館内OPAC	複合検索	16052	複合検索での検索結果に対して、所蔵項目（コード項目）による絞り込み検索を行うことができること　絞り込み対象の項目については、図書館にて設定・変更が可能であること				
館内OPAC	複合検索	16053	絞り込みの設定は、対象項目を選択し　対象となるコード値を一覧から複数選択する。といった形で簡単に設定することができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	複合検索	16054	所蔵項目による絞り込みは複数項目の掛け合わせ検索にて行うことができること				
館内OPAC	複合検索	16055	絞り込み条件の追加・変更・削除は絞り込み項目単位で行うことができること				
館内OPAC	複合検索	16056	件名を検索する場合は、一般件名と郷土件名を意識せずに検索できること	必須			
館内OPAC	分類検索	16057	分類で検索する場合は、分類番号の直接入力により、該当書誌の検索が可能なこと	必須			
館内OPAC	分類検索	16058	分類の一覧表から「類・綱・目」を階層的にたどって選択していくことで、目的の分類番号を参照し、該当書誌の検索が可能なこと	必須			
館内OPAC	分類検索	16059	ＮＤＣの相関索引を利用することにより分類を検索し、検索結果から該当書誌の検索が可能なこと				
館内OPAC	番号検索	16060	番号検索としてISBN（10桁もしくは13桁）、ISSN、資料番号、請求記号での単独の検索ができること	必須			
館内OPAC	ジャンル検索	16061	図書館が指定するジャンル毎に検索条件をつけることで利用者が検索値を入力することなく目的の資料に到達することができる誘導型検索が可能であること　またジャンルについては階層数を任意に指定が可能となっていること	必須			
館内OPAC	ジャンル検索	16062	ジャンル表は書誌種別／分類番号／資料種別によりジャンル分けでき、振り分けについては設定により制御することができること	必須			
館内OPAC	ジャンル検索	16063	ジャンル検索では各ジャンルの該当件数を表示できること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16064	検索結果書誌一覧から、書誌を選択することで書誌詳細と資料一覧へ展開することができること　　雑誌の場合は巻号一覧に展開することができること	必須			
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16065	検索結果書誌一覧を改ページ方式で表示する場合、１ページの表示行数を設定可能であること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16066	資料検索のヒット件数が１件の場合、自動的に資料一覧画面に遷移するようシステム設定することができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16067	検索結果書誌一覧の並び順を書名・著者名・出版者・分類から指定できること　初期値を設定可能なこと	必須			
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16068	一覧に表示する情報として、書名／著者名／出版者／書誌種別／分類／出版年／ISBN 等の情報が表示されること　また、一覧表示される項目や項目位置は設定可能なこと	必須			
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16069	検索結果書誌一覧には予約数・所蔵数が表示されること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16070	資料の状態により貸出可能数に含めるか含めないかが選択できること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16071	検索結果書誌一覧に表示されている書誌情報を書名・著者名・出版者名・出版年・分類別に並べ替えができること	必須			
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16072	検索結果書誌一覧の著者名・出版者・シリーズ名から、その項目を使用している書誌一覧に展開できること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16073	検索結果確認後、条件を追加して絞り込み検索ができること　絞込みは書名（内容細目を含む）・著者名・出版者・件名・分類・内容注記・全項目から指定できること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16074	書誌一覧より選択した書誌に対して予約入力が可能なこと	必須			
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16075	検索結果書誌一覧で資料を選択した状態で、情報を引き継いで予約画面へ遷移することが可能であること（予約カートの使用が可能であること）	必須			
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16076	検索結果の該当件数を一覧に表示することができること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16077	検索結果の該当ページ数（何ページ目を表示しているか）を一覧に表示することができること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16078	検索時に入力した検索値を一覧画面に表示することができること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16079	検索結果一覧は、1書誌につき３行で十分な書誌情報を表示できること　表示する書誌項目は設定により変更できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16080	検索結果一覧で表示している資料が新着、または近々のベストリーダーであった場合にそれが分かる表示がなされること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16081	検索結果一覧に表示する資料情報は、資料の状態によって表示する／しないの制限をすることができること				
館内OPAC	検索結果書誌一覧	16082	書影データがある場合は表示が可能なこと	必須			
館内OPAC	資料一覧	16083	資料一覧画面に表示する書誌情報は、書名・著者名・出版者・出版年月・タイトルコード・書誌種別・大きさ・頁数・ISBN・副書名・分類・内容紹介・著者紹介・目次情報・所蔵状況（所蔵数・在庫数・予約数・発注数）などを表示できること　表示項目は設定できること	必須			
館内OPAC	資料一覧	16084	資料一覧で資料情報は、図書・視聴覚・雑誌（逐次刊行物）に関わらず同様の画面を表示できること				
館内OPAC	資料一覧	16085	資料請求票がレシート出力可能なこと　レシートには書誌情報、タイトルコード（バーコード）、所蔵館、資料状態、配架場所、請求記号、資料種別、帯出区分、資料番号が印字されること				
館内OPAC	資料一覧	16086	資料請求票は、自館所蔵を優先して印字できること				
館内OPAC	資料一覧	16087	資料一覧の該当件数は、除籍資料を除いて表示できること	必須			
館内OPAC	資料一覧	16088	資料一覧から、資料を選択して資料の詳細画面へ展開することができること	必須			
館内OPAC	資料一覧	16089	資料一覧画面に表示する資料情報は、「全資料」「不明・除籍は除く」など、資料の状態により表示の可否が制御できること	必須			
館内OPAC	資料一覧	16090	検索結果一覧に戻ることなく、前・次の資料の詳細を表示することが可能であること	必須			
館内OPAC	資料一覧	16091	資料一覧画面から予約が可能であること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	資料一覧	16092	資料一覧画面の著者名・出版者・分類・件名から、その著者・出版者・分類を使用している書誌一覧を表示できること				
館内OPAC	資料一覧	16093	資料一覧は自館資料を先頭に表示できること	必須			
館内OPAC	資料一覧	16094	資料一覧画面に表示する資料の状態表示は、表示内容を設定により変更することができること	必須			
館内OPAC	資料一覧	16095	資料請求票に図書館からのお知らせ等を印字可能なこと	必須			
館内OPAC	資料一覧	16096	資料請求票に印字する内容は各館ごとに設定可能なこと				
館内OPAC	配架図	16097	配架図の表示が可能なこと				
館内OPAC	配架図	16098	配架図の設定が図書館で可能であること				
館内OPAC	配架図	16099	配架図のマッピング情報は、資料の配架場所区分・請求記号・資料種別の掛け合わせ、または単項目で指定できること				
館内OPAC	配架図	16100	付録資料の有無が確認できること				
館内OPAC	逐次刊行物	16101	雑誌巻号一覧は発行日の新しい順に表示できること	必須			
館内OPAC	逐次刊行物	16102	雑誌の内容細目でヒットした場合、内容細目がヒットした巻号のみ、巻号一覧で表示できること				
館内OPAC	逐次刊行物	16103	巻号一覧では、発行年月日の範囲指定ができること　範囲指定した場合はダイレクトに該当巻号へジャンプできること	必須			
館内OPAC	逐次刊行物	16104	逐次刊行物については館毎の一括所蔵情報が表示できること				
館内OPAC	予約	16105	予約の申込みはタイムラグがなくリアルタイムに更新され、その情報が職員が使用する画面で確認することができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	予約	16106	予約を行う際は予約カートの使用が可能であり、予約カートの中に入れた複数の資料に対して予約資料の選択を行い，その資料に一度の操作で予約が可能であること	必須			
館内OPAC	予約	16107	予約カートから複数の資料に予約を行う際、又は既に予約登録済の予約に対して順番予約の設定が可能なこと　またその解除が可能であること	必須			
館内OPAC	予約	16108	予約可能な書誌の場合「予約カートに入れる」ボタンを表示し、詳細画面から該当書誌を予約候補とすることができること	必須			
館内OPAC	予約	16109	予約可能でない書誌の場合は、「予約カートに入れる」ボタンは表示されずに、予約できない資料である旨の表示ができること	必須			
館内OPAC	予約	16110	予約可否の判断は利用者区分ごとに設定できること	必須			
館内OPAC	予約	16111	予約カートボタンを押すことで、現在の予約カート内容を表示することができること	必須			
館内OPAC	予約	16112	予約カートボタンを押して予約候補とした時点で、予約カート画面へ自動的に移動することができること	必須			
館内OPAC	予約	16113	予約カート画面に表示されている予約候補の書誌情報を選択することで、資料情報画面へ展開できること	必須			
館内OPAC	予約	16114	予約カート画面に表示された予約候補を削除できること	必須			
館内OPAC	予約	16115	予約候補の削除処理を行わずログアウト／セッションタイムアウトした場合でも、予約カート内の予約候補は保持されること	必須			
館内OPAC	予約	16116	予約冊数の制限をかけることができること	必須			
館内OPAC	予約	16117	予約時には利用者カード状態・予約上限冊数などのチェックを行い、警告メッセージを表示し、予約を制御できること	必須			
館内OPAC	予約	16118	利用者の貸出中資料に延滞がある場合、予約を制限することができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	予約	16119	既に利用者本人が予約を行っている資料に対して２重予約が抑止されること	必須			
館内OPAC	予約	16120	現在利用者本人が借りている資料に対して予約が抑止されること	必須			
館内OPAC	予約	16121	予約カート内に既にある書誌が、追加で予約候補に指定された場合、重複している旨を表示して予約候補として追加されない制御ができること	必須			
館内OPAC	予約	16122	自館（操作館）で貸出可能な所蔵資料がある場合、その旨を表示して予約確定できないよう設定ができること	必須			
館内OPAC	予約	16123	書誌種別・帯出区分による予約制御が行えること	必須			
館内OPAC	予約	16124	予約をする際は受取館、連絡方法（メール・連絡不要・電話）、の設定ができること　その際、内容に矛盾がないようにチェックされること　（例：連絡方法がメールなのにメールアドレスが設定されていない）	必須			
館内OPAC	予約	16125	予約を行う際に予約内容確認メールを送信するか否かを画面で選択できること　また登録しているメールアドレスが複数ある場合はメールアドレスの選択ができること				
館内OPAC	予約	16126	連絡方法は利用者の登録した値が規定値として表示できること	必須			
館内OPAC	予約	16127	予約資料受取希望館は端末が設置されている館または利用者が既定値として登録している館を初期表示できること	必須			
館内OPAC	予約	16128	予約カート画面で予約申込ボタンを押下した際、ログインしていない場合は、ログイン画面を表示し、利用者番号とパスワードを使用して、予約申込を行うことができること	必須			
館内OPAC	予約	16129	予約申込が完了した書誌は予約カート内（予約候補）から削除すること	必須			
館内OPAC	予約	16130	予約カートの中の資料で予約できなかった書誌は消さないで予約候補として保持することができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	予約	16131	予約申込時に、予約上限を超える書誌があり予約できない場合は、「予約出来る図書、雑誌は〇点です。」「予約出来る課題図書は〇点です。」など利用者に分かりやすい表示が可能なこと				
館内OPAC	予約	16132	予約申込後、予約票レシートを出力する／しないを選択可能なこと	必須			
館内OPAC	予約	16133	予約票へ印字する予約情報については、印字内容を設定で変更できること	必須			
館内OPAC	予約	16134	予約申込後、「ログアウトする」「予約状況照会画面を表示する」「検索結果画面にもどる」を選択できるメッセージが表示されること				
館内OPAC	予約	16135	利用者の予約カートの状態は、業務端末で職員も確認可能なこと				
館内OPAC	予約	16136	予約書誌ごとに受取館、連絡方法を指定できること				
館内OPAC	テーマ	16137	図書館が推奨する本を表示できる仕組みがあること　推奨のテーマとそれに関するコメントが参照でき、そのテーマに該当する資料の一覧が表示できること				
館内OPAC	テーマ	16138	テーマに該当する資料の一覧から詳細画面を表示させ、予約が可能であること				
館内OPAC	テーマ	16139	テーマは複数登録可能で図書館で作成可能なこと				
館内OPAC	ベストリーダー	16140	指定した期間中で貸出・予約が多い資料の順位を資料の区分（一般書、児童書など）毎に表示することができること　その際、前回の期間と比べての順位変動が表示されること				
館内OPAC	ベストリーダー	16141	貸出ベスト（貸出多数上位リスト）、予約ベスト（予約多数上位リスト）の一覧表示件数は、設定により制御することができること				
館内OPAC	ベストリーダー	16142	貸出・予約が多い資料の順位表示から資料情報画面を表示することができ、予約が可能となること				
館内OPAC	ベストリーダー	16143	貸出ベスト、予約ベスト表示画面で書誌情報を選択し、書誌の詳細画面へ展開することができること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	ベストリーダー	16144	貸出ベスト、予約ベストの集計条件（貸出期間・予約期間やベスト５０、１００など）は、パラメータにより設定することができること				
館内OPAC	新着	16145	新着資料の一覧を図書館が指定した期間、表示できること				
館内OPAC	新着	16146	新着一覧は、ジャンル毎（総記・哲学・文学など）に新着受入資料の一覧を表示することができ、新着一覧のジャンルは資料種別と請求記号の組合せで設定することができること				
館内OPAC	新着	16147	新着の各ジャンルでは該当件数が表示できること				
館内OPAC	新着	16148	新着一覧で表示された書誌情報を選択し、資料情報画面へ展開することができること				
館内OPAC	新着	16149	新着一覧の集計条件（1年以内に出版されて、1ヶ月以内に受入されたなど）は、パラメータにより設定することができること				
館内OPAC	新着	16150	新着一覧の表示件数は、設定により制御することができること				
館内OPAC	新着	16151	検索での表示対象外資料については、新着データの集計対象外とすることができること				
館内OPAC	カレンダー	16152	全館の図書館カレンダーを表示することができること　館と年月を選択してカレンダーの切り替えを行う方式であること	必須			
館内OPAC	カレンダー	16153	業務システムで登録した休館日情報をOPACのカレンダーに反映できること	必須			
館内OPAC	カレンダー	16154	祝祭日・図書館の休館日を区別して表示できること				
館内OPAC	カレンダー	16155	休館日カレンダーは当月および翌月の２ヶ月分を表示できること				
館内OPAC	お知らせ	16158	図書館からのお知らせを表示することができること　掲示期間内の全てのお知らせが一覧で表示され、そこから詳細の確認ができること				
館内OPAC	お知らせ	16159	お知らせ詳細ではリンク情報として登録されたURLへの遷移が可能であること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	お知らせ	16160	最新のお知らせの場合、一覧で「NEW」などを表示し、最新のお知らせであることを識別できること				
館内OPAC	お知らせ	16161	お知らせは図書館で登録可能であること　登録はシステム利用者の権限による制御を行うこと　また，表示対象館として全館／特定館を対象とできること	必須			
館内OPAC	お知らせ	16162	設定によりTOP画面にお知らせを自動的に表示できること				
館内OPAC	利用者ポータル	16163	利用者ポータル画面では上記の機能に加え、以下の「利用者情報」「貸出状況照会」「貸出延長」「予約照会」の機能が使用可能なこと	必須			
館内OPAC	利用者ポータル	16164	利用者ポータル画面には、業務システムで登録し、利用者公開するとした利用者コメントを表示することができること				
館内OPAC	利用者ポータル	16165	ログインを行った際に、予約準備が出来た資料がある場合は「予約資料が〇〇図書館に準備できております。」、延滞資料がある場合は「延滞資料があります。」のメッセージを表示できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル利用者情報	16166	ログイン者に関する情報（パスワード、メールアドレス、電話番号、初期表示用の予約連絡方法）を登録もしくは変更することができること　メールアドレスは複数登録可能であること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル	16167	それぞれの登録、変更については図書館側の設定により許可する、しないを制御できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル	16168	メールサービスとして各種メールの配信／停止を利用者が設定することができること　登録済みの利用者情報のメールアドレスを画面上で選択して登録できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル利用者情報	16169	利用者情報変更はタイムラグがなくリアルタイムに更新され、その情報が職員が使用する画面で確認することができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル利用者情報	16170	メールアドレスが複数ある場合でも全て表示、編集ができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル利用者情報	16171	登録済みメールアドレスを確認する機能があること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	利用者ポータル利用者情報	16172	メールアドレスの登録・変更を行った際に、存在確認用のメールを自動送信することができること				
館内OPAC	利用者ポータル利用者情報	16173	メールアドレスの削除機能があること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル貸出状況照会	16174	貸出状況照会で、現貸出資料の件数を確認することができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル貸出状況照会	16175	貸出状況照会画面には、各資料毎の書誌情報・書誌種別・書誌への予約の有無・付録の有無・貸出館・貸出日・返却期日・予約数・延長回数などが表示できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル貸出状況照会	16176	貸出状況照会画面より、貸出状況一覧票(全件)を出力することができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル貸出状況照会	16177	貸出状況照会を表示した時に、延滞資料があれば利用者に通知できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル貸出延長	16178	貸出状況照会から、延長条件に従って、貸出中資料の貸出期限延長を行うことができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16179	予約状況照会は、利用者自身の現予約情報を照会することができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16180	予約状況照会画面には、予約資料ごとの書誌情報・書誌種別・受取館・連絡方法・予約日・割当日・予約順位・予約状態・取置き期限・連絡方法・所蔵数などが表示できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16181	予約状況照会画面で、表示順を予約日順、取り置き期限順の降順/昇順にそれぞれ変更できること				
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16182	予約状況照会画面に予約割当中資料が存在し、利用者が画面を参照した場合は、利用者の選択で「確認済連絡不要」とすることができること				
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16183	予約状況照会画面では、択一予約の場合により取り消された予約について取消し理由が確認できること				
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16184	予約状況照会では、予約の変更・取消ができること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16185	予約の変更、取消が可能な予約状態・資料種別をシステム初期設定で指定できること。				
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16186	予約の変更、取消はリアルタイムで業務システムに反映されること　その情報が職員が使用する画面で確認でき、ＯＰＡＣからの取消であることが確認できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16187	予約情報を変更した場合、内容をレシート印刷することができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16188	取消された予約資料は、一定期間、予約状況照会画面で確認できること　表示期間は設定により変更できること　その情報が職員が使用する画面で確認できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16189	取消された予約資料について、利用者の選択で予約状況照会画面から消去できること				
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16190	協力貸出書誌への予約は、取消ができないよう制御できること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16191	予約の取消を行なう場合は、誤削除防止のために確認のメッセージを表示できること				
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16192	予約状況一覧画面より、予約状況一覧票(全件)を出力することができること	必須			
館内OPAC	利用者ポータル予約照会	16193	メールアドレス登録者には予約情報取消内容を確認するメールを送信可能であること　予約取消時に送信するか選択可能なこと				
館内OPAC	資料請求票	16194	資料請求票を出力した際に「職員にお渡しください」等のメッセージが表示できること				
館内OPAC	オートサジェスト	16195	検索キーの入力時に書名や著者名の補完機能をもつこと	必須			
館内OPAC	オートサジェスト	16196	補完機能については書誌データを参照して行うこと	必須			
館内OPAC	オートサジェスト	16197	検索履歴からよく使用されるキーを示すほか、キーワードから連想される分類、その他の資料を検索できるなど、検索キーを絞り込めない利用者の助けになる機能があること				
館内OPAC	レコメンド	16198	関連資料のレコメンドを表示できること　この機能の使用不使用については図書館側で設定できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内OPAC	ファセット検索	16199	絞り込み用のメニューを表示し、資料区分、所蔵館、著者名、出版者名、出版年等のグループにより絞り込みを行うファセット検索の機能をもつこと				
館内OPAC	ファセット検索	16200	ファセット検索の際には検索キーに付随して絞り込み結果数を表示すること				
館内OPAC	ファセット検索	16201	ファセット検索中は解除ボタンで選択を解除できること				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16202	利用者自身が検索した資料をリスト化して溜め込む機能をもつこと				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16203	溜め込んだ資料を確認する際に書影表示も可能なこと				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16204	利用者の選択により、貸出した資料を自動で溜め込んでいく機能をもつこと。利用者登録後の初期値は自動溜め込みする／しないをシステム初期設定できること				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16205	利用者は溜め込んだ資料を個別に選択し消去することができること				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16206	溜め込みした資料については、認証された本人以外、図書館職員からも閲覧できないこと				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16207	利用者が資料の評価としてレイティングを付けることができること　機能の使用・不使用について図書館で選択できること				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16208	利用者が資料のレビュー等を付ける機能をもつこと　機能の使用・不使用について図書館で選択できること　レビューごとに公開・非公開を設定できること				
館内OPAC	利用者ポータル画面	16209	利用者へのコメント等で未読のものがある場合は画面の目立つ部分にわかりやすく表示すること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17001	来館利用者がインターネットを使用した調査・調べものを行うためのweb閲覧端末を設置できること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17002	web閲覧端末は業務系の通信回線とは論理的に分離され、業務端末の通信内容や共有フォルダ、サーバにアクセスできないこと	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端	基本要件	17003	web閲覧端末同士の通信は互いに見えないよう保護されていること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17004	ウイルス対策ソフトは逐次自動更新されること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17005	フィルタリングによるアクセス制限機能を有していること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17006	フィルタリングの内容は一括・または個々で設定を変更可能なこと　自動更新も可能なこと	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17007	指定した通信プロトコル・ポート以外をブロックする機能を有すること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17008	パラメータにより設定した使用可能時間により、使用を終了させることができること　使用可能時間は申込時に選択可能なこと。（現在１５分・３０分の選択としている）	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17009	端末からの印刷について、別途調達する課金装置（コインベンダ等）と連携し、印刷枚数に応じた課金を行える構成とすること。	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17010	利用者の使用終了時、ブラウザの閲覧履歴やフォームへの入力履歴、ダウンロードファイル等は消去されること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17011	利用者によるソフトのインストールおよび外部装置の使用を制御できること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17012	利用者によりOS設定管理やウイルスチェックソフト等のバックグラウンドソフトの操作制限をかけることができること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17014	使用可能時間について、残り時間を表示、警告メッセージを表示できること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端	基本要件	17015	利用者は使用可能時間前でも端末を終了させることができること	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17016	ユーザごとのアクセスログを保持すること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17017	USBポート等の入出力ポートを利用者が不正利用できないように制御すること（ハード対応・ソフト対応どちらでも可）	必須			
館内Ｗｅｂ閲覧端末	基本要件	17018	使用するOSは業務システムと同等以上のバージョンとすること　OSのサポート期限切れに対応すること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
webOPAC	基本要件	18001	以下に記述されない各要件については館内ＯＰＡＣと同等の機能を持つこと	必須			
webOPAC	基本要件	18002	webOPACからお知らせ・パスワード変更・貸出カード番号とパスワードによるログイン・web仮登録申請・利用者ポータル・資料検索・予約・メールサービス・SDI(選択制新着資料お知らせ)サービス・レファレンスサービスの機能が使用可能なこと	必須			
webOPAC	基本要件	18003	webOPACは以下の環境での利用を保証すること ・OS　Windows、macOS、Android、iOSのうち、各提供元がサポートしているバージョン ・ブラウザ　各OS標準ブラウザほか主要なブラウザのうち、各提供元がサポートしているバージョン	必須			
webOPAC	基本要件	18004	ログインや状況照会などの画面では、TLS1.3以上により通信データを暗号化することができること	必須			
webOPAC	基本要件	18005	操作に当たって、利用者が参照できるヘルプ機能またはガイダンスページを備えること	必須			
webOPAC	基本要件	18006	パンくずリスト（TOPページからのカテゴリ毎の遷移リンク）を表示することで、今どの画面を表示しているのか一目で分かる表示がされていること　パンくずリストのハイパーリンクをクリックすることで、その画面に展開ができること				
webOPAC	基本要件	18007	画面デザインはプログラムを変更することなく設定ファイルにて、使用する機能、ボタンの位置・大きさなどのカスタマイズが可能であること				
webOPAC	基本要件	18008	図書館側でメッセージの追加や変更ができること	必須			
webOPAC	基本要件	18010	一般向け、こども向け(平仮名)の画面に切り換えが可能であること	必須			
webOPAC	基本要件	18011	子ども向け表示が選択された場合、検索結果についてもひらがなを表示する等の配慮がなされていること				
webOPAC	基本要件	18012	多言語対応として英語・中国語・ハングル等の画面に切り替えが可能であること				
webOPAC	基本要件	18013	アクセシビリティ対応として、音声読み上げ、文字拡大等、JIS X 8341-3:2016に配慮していること	必須			
webOPAC	基本要件	18014	各画面はA4用紙幅のプリンタ出力レイアウトに対応できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
webOPAC	基本要件	18015	ログイン後、未使用時間が指定時間を越えた場合にタイムアウトとして自動でセッションを切られること　　タイムアウト時間は館内OPACとは別に任意に設定することができること	必須			
webOPAC	基本要件	18016	OPACの利用状況のアクセスログを取得することができること	必須			
webOPAC	基本要件	18017	業務システムのコード表記とOPAC用のコード表記を別に管理・表示することができること（例：業務「場所区分」、OPAC：「配架場所」など）				
webOPAC	基本要件	18018	パスワード変更機能は、利用者番号と仮パスワード・旧パスワードによりユーザ認証を行い、仮パスワード・新パスワードに変更できること　随時パスワード変更が可能なこと	必須			
webOPAC	基本要件	18060	ログインすることで貸出カード番号・バーコードを表示する機能があること。スマートフォン・タブレット対応デザイン時の場合、ログイン後ワンタップ以内の操作で貸出カード番号・バーコードが表示できること。	必須			
webOPAC	基本要件	18061	外部システムアカウントでの連携機能として、大阪府行政総合ポータルサイト（my door OSAKA)のアカウントを使用したシームレスログイン機能を有すること。	必須			
webOPAC	web仮登録申請	18019	web仮登録申請により利用者登録の申し込みが可能であり、この内容を使用して図書館側で身分証確認後に正式登録可能であること　その際、申込み時に登録させる情報は下記とする 氏名・氏名よみ・生年月日、メールアドレス、自宅郵便番号、自宅住所・番地、電話番号	必須			
webOPAC	web仮登録申請	18020	web仮登録申請の内容を確認するメールを登録されたメールアドレスに送信可能であること	必須			
webOPAC	web仮登録申請	18021	web仮登録申請者に対してweb仮登録申請番号と予約用パスワードを発行する機能があること　予約用パスワードでは、仮パスワードを発行しなくても、予約のみできるものとする。その際、予約用パスワードをメール送信可能であること	必須			
webOPAC	web仮登録申請	18022	窓口でweb仮登録申請処理をする際使用するフォームが、簡単にプリントアウトできることフォームには受付番号が印字されること　フォームに印字される図書館からの注意事項等は図書館で簡単に変更できること	必須			
webOPAC	web仮登録申請	18023	web仮登録申請者は貸出停止状態で登録されること	必須			
webOPAC	検索	18024	検索実行は、検索キーを入力して検索ボタンをクリックすることなく、エンターキーで開始できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
webOPAC	検索	18025	所蔵館については、全館または各図書館が選択できること　選択はチェックボックス形式とし複数の館を選択できること	必須			
webOPAC	資料一覧	18026	資料一覧画面には、所蔵館・資料番号・資料種別・帯出区分・請求記号・配架場所・資料状態が表示できること　また必要に応じて資料請求票出力ボタンを表示できること	必須			
webOPAC	資料一覧	18027	資料一覧画面の著者名・出版者のハイパーリンクをクリックすることで、その著者・出版者を使用している書誌一覧を表示できること	必須			
webOPAC	資料一覧	18028	資料一覧は導入時に指定するソート順を初期値とすることができること	必須			
webOPAC	資料一覧	18128	書名、著者名、出版者名で一覧をソートできること	必須			
webOPAC	資料一覧	18129	大型サイズ資料に対する注記などをフレキシブルに表示できる機能があること	必須			
webOPAC	予約	18029	受取館は利用者の登録した値が規定値として表示できること	必須			
webOPAC	予約	18030	予約申込時に選択することで予約受付確認メールを送信可能なこと				
webOPAC	予約	18031	予約受付確認メールについては、通知内容（表示順・文面等）を業務画面で設定できること				
webOPAC	レファレンス	18032	利用者ポータル画面よりレファレンスの申込ができること。				
webOPAC	レファレンス	18033	レファレンス申込された内容は、設定されたメールアドレス宛に送信されること				
webOPAC	レファレンス	18034	レファレンス申込された内容は、業務システムのレファレンスデータベースに自動登録されること				
webOPAC	レファレンス	18035	レファレンス申込画面では、利用者番号・利用者名・質問者区分（未就学・小学生・中学生・・・社会人など）・希望回答方法・e-mailアドレス・電話番号・住所・FAX番号・質問の表題・質問内容・調査済資料などの情報が入力できること				
webOPAC	レファレンス	18036	利用者は申込入力したレファレンス内容を申込後に確認する手段があること				
webOPAC	レファレンス	18037	業務端末により公開対象と設定されたレファレンス事例を検索することができること	必須			
webOPAC	レファレンス	18038	レファレンス事例はフリーキーワード（質問内容・回答内容）で検索できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
webOPAC	レファレンス	18039	レファレンス事例は回答として挙げた資料のNDC類目を「カテゴリ」として検索できること				
webOPAC	オートサジェスト	18040	検索キーの入力時に書名や著者名の補完機能をもつこと	必須			
webOPAC	オートサジェスト	18041	検索キーの補完機能については書誌データを参照して行うこと				
webOPAC	オートサジェスト	18042	検索履歴からよく使用されるキーを示すほか、キーワードから連想される分類、その他の資料を検索できるなど、検索キーを絞り込めない利用者の助けになる機能があること				
webOPAC	レコメンド	18043	関連資料のレコメンドを表示できること　この機能の使用不使用については図書館側で設定できること				
webOPAC	ファセット検索	18044	絞り込み用のメニューを表示し、資料区分、所蔵館、著者名、出版者名、出版年等のグループにより絞り込みを行うファセット検索の機能をもつこと	必須			
webOPAC	ファセット検索	18045	ファセット検索の際には検索キーに付随して絞り込み結果数を表示すること	必須			
webOPAC	ファセット検索	18046	ファセット検索中は解除ボタンで選択を解除できること	必須			
webOPAC	利用者ポータル画面	18047	利用者自身が検索した資料をリスト化して溜め込む機能をもつこと	必須			
webOPAC	利用者ポータル画面	18053	利用者へのコメント等で未読のものがある場合は画面の目立つ部分にわかりやすく表示すること				
webOPAC	利用者ポータル画面 SDIサービス	18048	利用者自身が登録したキーワードに関連する資料が受け入れされた際に、利用者にメール等で資料情報の発信を行えること	必須			
webOPAC	予約	18051	利用者の予約カートの状態について、業務側からも確認可能なこと				
webOPAC	予約	18052	予約申し込みする資料ごとに受取館、連絡方法を指定できること				
webOPAC	基本要件	18054	PCやタブレット・スマートフォンなど、デバイスの画面サイズ・向きに合わせた画面表示が可能であること。同一URLで表示が自動的に変わるレスポンシブデザインが望ましいが、別URL方式の場合は表示しているページの別デザイン版を利用者の操作により切り替えることができること	必須			
webOPAC	書影表示	18055	検索結果表示の際、書影画像データの表示が可能なこと。表示書影画像データの使用に当たっては著作権法を遵守すること。書影画像データ提供元のサービス停止などに備え、提供元の変更や代替措置が可能であること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
webOPAC	統計	18056	図書館ホームページ上の全ページについて月別アクセス数を取得できること	必須			
webOPAC	移行	18057	現行図書館ホームページから図書館の指定するページを移行すること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
電子書籍提供サービス	基本要件	19001	現在堺市立図書館で提供している電子書籍を継続して提供できること	必須			
電子書籍提供サービス	基本要件	19002	web上で電子書籍の検索・予約・貸出・閲覧が可能な電子図書館システムであること	必須			
電子書籍提供サービス	基本要件	19003	電子書籍は著作権管理機能により不正利用・コピー・改竄などができない対策を施すこと	必須			
電子書籍提供サービス	基本要件	19004	以下の環境での利用を保証すること ・OS　Windows、macOS、Android、iOSのうち、各提供元がサポートしているバージョン ・ブラウザ　各OS標準ブラウザほか主要なブラウザのうち、各提供元がサポートしているバージョン	必須			
電子書籍提供サービス	基本要件	19005	電子書籍には、ラインマーカー、書き込みなどが自由にできること、ラインマーカーや書き込みが他の利用者の利用に影響を与えないこと				
電子書籍提供サービス	基本要件	19006	音声読み上げ、文字色反転、文字の拡大などに対応すること	必須			
電子書籍提供サービス	基本要件	19007	電子書籍の公開・非公開は図書館で任意に設定できること	必須			
電子書籍提供サービス	検索	19008	業務端末および館内OPAC、webOPACの蔵書検索で一般資料（紙の資料）と同様に検索ができること	必須			
電子書籍提供サービス	検索	19009	検索のための書誌情報、資料情報の登録が図書と同様に可能なこと				
電子書籍提供サービス	検索	19010	検索のための書誌情報、資料情報の登録では書誌種別・資料種別とも電子書籍であることを示す区分を使用し、業務端末・館内OPAC、webOPACで一般資料と異なることを判別できること				
電子書籍提供サービス	認証	19011	利用者の認証は館内OPAC・webOPACと共通化し、OPACで入力する利用者番号とOPAC用パスワードがそのまま使用できること	必須			
電子書籍提供サービス	認証	19012	利用者カードの再発行が行われた場合、新利用者番号で続けて電子書籍の貸し出しが継続できること、予約情報も引き継がれること				
電子書籍提供サービス	認証	19013	利用者番号とパスワードは図書館業務システム側で管理し、電子図書館でログインする際は図書館情報システム側とシステム間通信を行い認証すること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
電子書籍提供サービス	認証	19014	webOPAC側でログイン時、電子図書館に遷移した際にログイン済状態が引き継がれること	必須			
電子書籍提供サービス	貸出	19015	導入時に貸出期間の設定が可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	貸出	19016	利用者の操作により貸出延長が可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	貸出	19017	導入時に貸出延長期間、貸出延長可能回数の設定が可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	貸出	19018	延長しようとする電子書籍に予約が入っている場合、延長不可とできること	必須			
電子書籍提供サービス	返却	19019	利用者が任意のタイミングで返却処理できること	必須			
電子書籍提供サービス	返却	19020	貸出中のまま返却期限を迎えた場合は、資料の状態が貸出中から在庫に戻ること(自動返却)	必須			
電子書籍提供サービス	返却	19021	貸出中のまま返却期限を迎え資料が自動返却となった場合、当該資料の貸出対象者にメールで通知できること				
電子書籍提供サービス	予約	19022	貸出中の電子書籍に対して予約が可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	予約	19023	予約の上限数・貸出（閲覧）開始までの取置期間の設定が可能であること				
電子書籍提供サービス	予約	19024	予約の電子書籍が貸出可能になった場合は、利用者にメールで通知できること	必須			
電子書籍提供サービス	状況照会	19025	電子書籍の貸出・予約状況を業務端末・館内OPAC・webOPACから、電子図書館に遷移せずに確認できること	必須			
電子書籍提供サービス	状況照会	19026	電子書籍の貸出・予約状況は業務端末・館内OPAC・webOPACから、電子図書館間でリアルタイムに共有できること	必須			
電子書籍提供サービス	状況照会	19027	電子書籍のフォーマット形式、対応機種について、電子図書館、業務システム、OPAC系で確認できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
電子書籍提供サービス	管理機能	19028	必要に応じて除籍が可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	管理機能	19029	蔵書点検の対象からはずすことが可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	管理機能	19030	蔵書統計、利用統計が他の媒体資料と同様に行えること	必須			
電子書籍提供サービス	管理機能	19031	電子書籍サービスが終了した場合は、購入コンテンツについて、必要に応じてメディア変換が可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	独自コンテンツ	19032	当館独自の資料を電子書籍化して電子図書館に登録・利用可能なこと	必須			
電子書籍提供サービス	独自コンテンツ	19033	当館独自の資料について、年間数十件程度の増を見込んでいる。登録については、登録点数に制限を設けないこと	必須			
電子書籍提供サービス	独自コンテンツ	19034	当館独自作成コンテンツなどのライセンス問題をクリアした資料については、認証の必要なく誰でも使える手段があること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
デジタルアーカイブ	基本要件	20001	写真、絵葉書、絵図など、デジタル化されたコンテンツについて、Web上で検索・閲覧が可能なデジタルアーカイブシステムをもつこと	必須			
デジタルアーカイブ	基本要件	20002	デジタルアーカイブシステムは業務システムと連携可能とし、書誌データとの関連づけによって業務システム、OPAC系からも検索・閲覧が可能なこと	必須			
デジタルアーカイブ	基本要件	20003	デジタルアーカイブ上での閲覧に際しては必要に応じて画像の拡大縮小が可能であること	必須			
デジタルアーカイブ	基本要件	20004	デジタルアーカイブ上での閲覧に際しては必要に応じて回転の処理が可能であること				
デジタルアーカイブ	基本要件	20005	デジタルアーカイブのコンテンツについては個々に公開／非公開を指定できること				
デジタルアーカイブ	基本要件	20006	デジタルアーカイブには堺市立図書館ホームページで現在公開している「地域資料デジタルアーカイブ」の内容（画像・メタデータ）を移行できること				
デジタルアーカイブ	管理機能	20007	デジタルアーカイブのアクセス数が統計可能なこと	必須			
デジタルアーカイブ	管理機能	20008	デジタルアーカイブのアクセス数統計はコンテンツごとに採取可能なこと				
デジタルアーカイブ	管理機能	20009	スマートフォン・タブレット端末からの利用に対応していること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
web閲覧端末管理・座席管理	基本要件	21001	web閲覧端末の利用および申込制座席の利用について、利用者自身が操作する申込システムがあること	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	基本要件	21002	申込には利用者番号が使用できること	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	基本要件	21003	webOPACのパスワードを使用して申込登録・照会ができること				
web閲覧端末管理・座席管理	基本要件	21004	各館毎にweb閲覧端末ト・申込制座席の数と受付可能時間を設定できること（システム運用開始後の変更も含む）	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	基本要件	21005	利用時間の枠は15分単位でシステム設定可能であること（システム運用開始後の変更も含む）	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	利用者側機能	21006	利用者はweb閲覧端末／予約制座席の種別を選択し、申込登録ができること。申込結果をレシート等で印刷できること	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	利用者側機能	21007	利用者は自分の利用申込状況と申込枠の空き状況を確認することができること	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	利用者側機能	21008	直近の利用枠が使用中の場合、予約ができること。その際、予約受付票としてレシート等を印刷できること	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	利用者側機能	21009	利用者は自分の予約申込を取り消すことができること				
web閲覧端末管理・座席管理	管理機能	21010	同一利用者による重複予約を禁止する設定が可能であること	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	管理機能	21011	同一利用者による申込上限回数を設定できること（取り消した申込は回数制限の対象外とする）。	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	管理機能	21012	同一利用者による申込上限回数制御はweb閲覧端末・予約制座席端末の別毎に設定可能なこと				
web閲覧端末管理・座席管理	管理機能	21013	職員は自館のweb閲覧端末・予約制座席の利用状況・予約状況を確認可能なこと	必須			
web閲覧端末管理・座席管理	管理機能	21014	職員は自館のweb閲覧端末・予約制座席の利用予約を取り消すことが可能なこと	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
web閲覧端末管理・座席管理	管理機能	21015	利用状況の統計を出力できること	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
統計情報	基本要件	22001	帳票・統計出力ファイルは印刷時に利用しやすいレイアウトにおさめたPDF形式と、Microsoft Excelで加工利用可能な形式（xlsx、CSV、TSV等）で出力・保存できること	必須			
統計情報	基本要件	22002	操作者のアクセス権限により、帳票ごとに出力の可否の設定が可能なこと	必須			
統計情報	基本要件	22003	同時に大量の帳票・統計の実行指示がされても通常業務のレスポンスに影響を与えないこと	必須			
統計情報	基本要件	22004	帳票処理用サーバを別に用意する場合は、データの反映がリアルタイムに行われるよう注意すること。貸出一覧等、即時出力が必要な帳票で、実データと出力内容に齟齬が出ないようにすること。				
統計情報	基本要件	22005	処理終了後の出力結果は履歴として保存でき、繰り返し印刷・ダウンロードができること	必須			
統計情報	基本要件	22006	帳票については、社会情勢の変化等により必要となるものも変化する可能性が大きく、既定の様式・抽出条件では対応できないケースが見込まれるため、データベースからの抽出・集計が随時可能なデータベース参照ツールを用意すること	必須			
統計情報	基本要件	22007	職員のＳＱＬの操作について技術支援すること				
統計情報	基本要件	22008	抽出条件として範囲指定及び複数指定と記載している項目は、すべて単一でも可能なこと また複数選択が可能な項目は論理むきゅんが発生しない限り全選択も可能なこと	必須			
統計情報	基本要件	22009	抽出条件として必須指定とする項目は、導入時に協議の上決定できること				
統計情報	基本要件	22010	別紙の表に示す抽出条件、表示項目は、これらを下回ることがないこと				
統計情報	基本要件	22011	全ての統計データについて過年度のものが出力できること	必須			
統計情報	基本要件	22012	過年度の統計データについて、特に蔵書集計は直近の除籍や受入等の影響を受けない集計が可能なこと	必須			

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
統計情報	基本要件	22013	日本図書館協会が毎年行なう調査フォーマットに対応したデータ抽出機能があること　図書館システムで保有している蔵書数や貸出数などを簡易な操作のみで一括抽出できること				
統計情報	基本要件	22014	登録者、利用者関連の統計については、すべて区・丁単位・小学校区単位での出力も可能なこと				
統計情報	基本要件	22015	登録者、利用者の年齢については、年度単位、年単位どちらの統計出力についても条件設定がしやすい方法でデータベースに格納すること				
統計情報	利用統計	22016	利用動向を把握するため、貸出・返却・予約等の利用データを蓄積できること。なおこの場合、利用者氏名などの個人特定できる情報は必要ないが、年齢・居住地域（区・丁）は参照できること。				
統計情報	利用統計	22017	利用者の利用回数の計数方法は、１日あたり１回での係数、１貸出単位での計数の両方を選択できること				
統計情報	利用統計	22018	インターネット蔵書検索予約システム（webOPAC）の主要機能（検索・予約・パスワード発行等）の利用統計が出力可能であること	必須			
統計情報	利用統計	22019	図書館情報システムwebサーバ内ページのアクセス統計が出力可能であること	必須			
統計情報	利用統計	22020	デジタルアーカイブの利用統計が出力可能であること	必須			
統計情報	利用統計	22021	館内web閲覧端末の利用統計が出力可能であること	必須			
統計情報	利用統計	22022	館内web閲覧システムでのオンラインデータベースの利用統計について、図書館システム上で出力可能なこと	必須			
統計情報	新着資料抽出	22023	受入日付・出版日を条件として新着資料を抽出することができること				
統計情報	新着資料抽出	22024	新着資料は各館ごと及び全館分を選択して抽出できること				
統計情報	汎用検索・集計	22025	検索する表や列を任意に選択し、検索条件を入力して自由に検索できること　また、集計する表や列を任意に選択し、集計条件や集計キーを選択して自由に集計できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考（提案書に記載の場合はその箇所）
統計情報	汎用検索・集計	22026	汎用検索や汎用集計で行った条件を保存しておき再利用できること				
統計情報	汎用検索・集計	22027	条件入力、表示名称、並べ替え等、固定設定枠があり比較的簡単に設定し検索できること				
統計情報	汎用検索・集計	22028	個別に表名、列名を選択し条件を設定して検索できること　また、SQL関数等を利用し、複雑な条件を設定できること				
統計情報	汎用検索・集計	22029	結果をEXCELファイルやCSVファイルに出力できること	必須			
統計情報	汎用検索・集計	22030	予め登録された定型検索をバッチ実行することができ、結果をサーバディスクに自動保存できること				
統計情報	汎用検索・集計	22031	検索結果で表示されるコード値をコードマスタ等を利用して変換し、名称表示できること				
統計情報	出力記録	22032	帳票出力操作をログに記録できること　いつ、誰が、どこで、どんな出力を行ったかを記録できること				

業務区分	細区分	管理番号	機能要件	評価区分	対応可	対応不可	代替提案・一部実現・備考 （提案書に記載の場合はその箇所）
その他	オンラインマニュアル	23001	業務マニュアルがアイコンのクリック等簡便な方法で表示されること	必須			
その他	オンラインマニュアル	23002	サイトマップイメージでマニュアルの全体像が把握でき、各個別マニュアルにリンクする画面を用意すること				
その他	オンラインマニュアル	23003	マニュアルには、各業務で使用する様式もリンクされ、ダウンロード、印刷が可能なこと				